

# MILCO.S

## アプリ

# USB 赤外線通信器(IR)用 (Windows 用)

## 設定アプリ

## ユーザーズ・マニュアル

Ver.1.14

三菱電機照明株式会社

## 目 次

1. 概要.....	1
1-1. 概要.....	1
1-2. システム構成.....	1
2. インストール、起動と終了.....	2
2-1. アプリソフトウェアのインストール.....	2
2-2. USB ドライバソフトウェアのインストール.....	2
2-3. ソフトウェアの起動.....	4
2-4. ソフトウェアの終了.....	5
2-5. ソフトウェアの画面サイズ変更.....	5
2-6. 起動時の初期処理.....	6
2-7. USB ドライバの確認.....	7
3. 画面一覧.....	8
3-1. スプラッシュ画面.....	9
3-1-1. 概要.....	9
3-1-2. 画面仕様.....	9
3-1-3. 動作仕様.....	10
3-2. 【共通】対象選択部.....	11
3-2-1. 概要.....	11
3-2-2. 画面仕様.....	11
3-2-3. 動作仕様.....	12
3-3. 【共通】送信・受信ボタン.....	13
3-3-1. 概要.....	13
3-3-2. 画面仕様.....	13
3-3-3. 動作仕様.....	13
3-4. 【共通】タブメニュー.....	14
3-4-1. 概要.....	14
3-4-2. 画面仕様.....	14
3-4-3. 動作仕様.....	14
3-5. 【共通】時刻・時間選択部.....	15
3-5-1. 概要.....	15
3-5-2. 画面仕様.....	15
3-5-3. 動作仕様.....	15
3-6. 【共通】インフォメーション表示.....	16
3-6-1. 概要.....	16
3-6-2. 画面仕様.....	16
3-6-3. 動作仕様.....	16
3-7. 【共通】エラー表示.....	17
3-7-1. 概要.....	17
3-7-2. 画面仕様.....	17
3-7-3. 動作仕様.....	17
3-8. 【共通】印刷機能.....	18
3-8-1. 概要.....	18
3-8-2. 画面仕様.....	18
3-8-3. 動作仕様.....	19
3-9. 【共通】タッチパネル、タブレット PC でのタッチ操作.....	20
3-9-1. 概要.....	20
3-9-2. キーボード画面仕様.....	21
3-9-3. キーボード動作仕様.....	21
3-10. シーン選択画面.....	22

3-10-1. 概要	22
3-10-2. 画面仕様	22
3-10-3. 動作仕様	23
3-11. 調光操作画面	24
3-11-1. 概要	24
3-11-2. 画面仕様	24
3-11-3. 動作仕様	25
3-12. 設定画面	27
3-12-1. 概要	27
3-12-2. 画面仕様	27
3-12-3. 動作仕様	28
3-13. 設定シーン設定画面	29
3-13-1. 概要	29
3-13-2. 画面仕様	29
3-13-3. 動作仕様	30
3-14. 設定スケジュール設定画面	32
3-14-1. 概要	32
3-14-2. 画面仕様	32
3-14-3. 動作仕様	32
3-15. 設定スケジュール設定スケジュール実行画面	33
3-15-1. 概要	33
3-15-2. 画面仕様	33
3-15-3. 動作仕様	34
3-16. 設定スケジュール設定スケジュールパターン設定画面	35
3-16-1. 概要	35
3-16-2. 画面仕様	35
3-16-3. 動作仕様	36
3-17. 設定スケジュール設定週間スケジュール設定画面	38
3-17-1. 概要	38
3-17-2. 画面仕様	38
3-17-3. 動作仕様	39
3-18. 設定スケジュール設定年間スケジュール設定画面	40
3-18-1. 概要	40
3-18-2. 画面仕様	40
3-18-3. 動作仕様	41
3-19. 設定スケジュール設定スケジュール確認画面	42
3-19-1. 概要	42
3-19-2. 画面仕様	42
3-19-3. 動作仕様	42
3-20. 設定運用設定画面	43
3-20-1. 概要	43
3-20-2. 画面仕様	43
3-20-3. 動作仕様	44
3-21. 設定データ管理画面	49
3-21-1. 概要	49
3-21-2. 画面仕様	49
3-21-3. 動作仕様	49
3-22. 設定設定データ一括送受信画面	50
3-22-1. 概要	50
3-22-2. 画面仕様	50
3-22-3. 動作仕様	51
3-24. 設定設定データファイル保存・読出画面	52

3-24-1. 概要 .....	52
3-24-2. 画面仕様 .....	52
3-24-3. 動作仕様 .....	52
3-25. ワイヤレス設定 .....	53
3-25-1. 概要 .....	53
3-25-2. 画面仕様 .....	53
3-25-3. 動作仕様 .....	53
3-26. 通信設定画面 .....	54
3-26-1. 概要 .....	54
3-26-2. 画面仕様 .....	54
3-26-3. 動作仕様 .....	54
3-27. 設定一名称変更画面 .....	55
3-27-1. 概要 .....	55
3-27-2. 画面仕様 .....	55
3-27-3. 動作仕様 .....	55
3-28. 設定一ソフトウェア設定画面 .....	56
3-28-1. 概要 .....	56
3-28-2. 画面仕様 .....	56
3-28-3. 動作仕様 .....	56

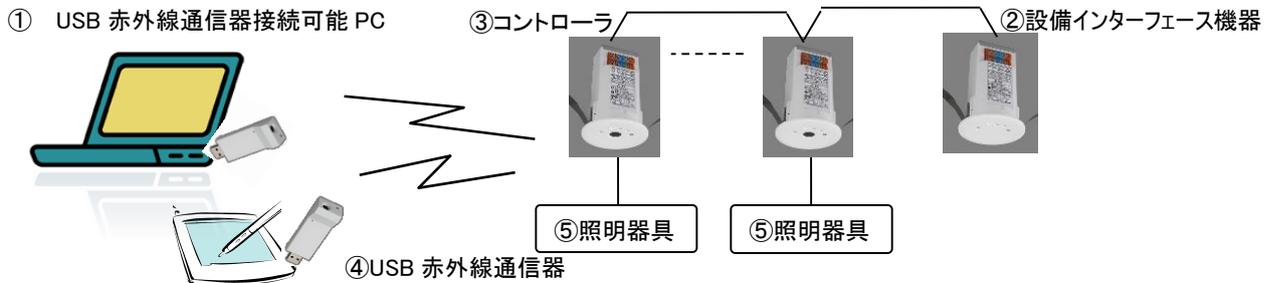
## 1. 概要

### 1-1. 概要

本書は MILCO.S システムのコントローラに USB 赤外線通信器 (MS2105) 経由で照明制御、各種設定を行う照明制御アプリケーション IR(Windows 版)の仕様について示したユーザーズ・マニュアルです。

### 1-2. システム構成

以下にシステム構成図を示します。



No.	名称	機能	備考
①	USB 赤外線通信器 接続可能 Windows PC (Windows タブレット PC 含む)	USB 赤外線通信器 (MS2105) 経由でコントローラへの 照明制御や照明制御設定の送受信を行います。	対応 OS は Windows 7、8.1、10 (32bit/64 bit) <sup>1</sup> 。 Windows RT には対応していません。
②	設備インターフェース機 器 ・MS851	MILCO.S のコントローラと通信線で接続し、PC より WiFi で電 力の見える化および操作・各種設定を行うことができる I/F 装置 です。設備インターフェース機器 自体がアクセスポイントとなるア クセスポイントモード、汎用無線 LAN アクセスポイントと無線 LAN 接続するインフラストラクチャモード、及び有線 LAN モードの切り 替えが可能です。	1 つの MILCO.S システムで最大 5 台。 設備インターフェース機器のアドレスは 11 ~ 15 のいずれかに指定する必要があります。 出荷時のアドレスは 11 です。
③	MILCO.S コントローラ ・コントローラ間 通信機能がある機種 MS681S/MS682S MS683S/MS684S MS691S ・コントローラ間 通信機能がない機種 MS681/MS682	制御に対応している照明器具の制御を行います。 1つのコントローラには回路が 2 回路あります。	コントローラ間通信や設備インターフェ ース機器を使用する場合は、通信機能があ るコントローラが必要です。各コントローラの 納入仕様書及び取扱説明書を、ご確認ください。  (1つの MILCO.S システムで最大 10 台。 コントローラのアドレスは 1~10 のいずれか に、他のコントローラと重複しないよう指定す る必要があります。 <b>アドレスが 0 では設備インターフェース機器と 通信できない</b> ため、アドレスの設定が必要 です。)
④	USB 赤外線通信器 ・MS2105	USB 赤外線通信器接続可能 Windows PC の USB 端子に接 続し赤外線通信が可能となります。	別途 USB 延長ケーブルやホストケーブルが 必要となります。
⑤	照明器具	コントローラの機種により、PWM 信号で制御される照明器具や 無線で制御される照明器具があります。	コントローラの納入仕様書及び取扱説明 書を、ご確認ください

<sup>1</sup> Windows7 で本ソフトウェアを動作させるためには、**.NET Framework 4.5 以上がインストールされている**必要があります。Windows Update により.NET Framework4.5 以上をインストールしてください。ネットワークが使用できない場合は、あらかじめ.NET Framework4.5 以上(4.5.1 や 4.5.2 など)のオフラインインストーラをマイクロソフト社の WEB ページから入手してインストールしてください。

Windows8.1 ではデスクトップ画面から本ソフトウェアを使用してください。

また、Windows8.1 でワイヤレスアダプターが省電力設定になっている場合は、無線 LAN 通信ができないことがあります。その場合は、PC の電源オプションの設定から、詳細設定の“ワイヤレスアダプターの設定”を選択し、“省電力モード”を最大パフォーマンスに変更してください。“ワイヤレスアダプターの設定”が無い場合は PC メーカーに問い合わせてください。

## 2. インストール、起動と終了

### 2-1. アプリソフトウェアのインストール

本ソフトウェアはインストーラの実行ファイル MILCO.S\_setup\_ver\*.\*\*.exe(\*.\*\*はバージョン番号)を左ダブルクリックすることでインストールされます。ソフトウェアのバージョンアップの際には、前バージョンをアンインストールしてからインストーラを実行してください。

インストーラを起動するとインストールウィザードが表示されますので画面指示に従ってインストールしてください。

途中で使用許諾事項の表示がありますので内容を確認してください。

インストール先のフォルダは Windows OS 標準のプログラムインストールフォルダ(「%ProgramFiles%」)の下の「MILIE¥MILCO.S」フォルダです。インストールウィザード中にインストール先フォルダを指定する画面がありますのでインストール先を変更することも可能です。

変更が必要な場合、インストール先フォルダの指定画面が表示されたら希望するインストール先フォルダを選択してください。

なお、Windows OS の UAC(User Account Control)機能が有効であり、かつ、Windows OS 標準のプログラムインストールフォルダの下にインストールした場合は、本ソフトウェアの設定ファイル(「app.setting」ファイル: 本ソフトウェアの各種設定とシーン名やスケジュール名などが保存されます。「controllerName.setting」ファイル: 本ソフトウェアで表示されるコントローラ名、グループ名が保存されます。)はユーザーごとに保存<sup>2</sup>されます。

複数のユーザで共通して設定ファイルを使用したい場合は、インストール先フォルダを Windows OS 標準のプログラムインストールフォルダの下ではないフォルダに変更するか、セキュリティ面での問題が無いかを考慮の上で UAC 機能を無効にしてください。

なお、他の PC にも本ソフトウェアをインストールする場合には、インストール後に設定ファイルを該当フォルダにコピーすることで設定データを引き継ぐことができます。

アンインストールは通常の Windows ソフトウェアのアンインストールと同様、Windows OS の「プログラムのアンインストールまたは変更」画面から、行います。リストから「MILCO.S 設定アプリ」を見つけ、右クリックメニューから「アンインストール」を選択してください。

設定ファイルはアンインストールをおこなっても消去されませんので、完全にアンインストールする場合は、手作業で本ソフトウェアのインストール先である「MILIE¥MILCO.S」フォルダごと消去してください。

### 2-2. USB ドライバソフトウェアのインストール

アプリソフトウェアのインストール後に、USB 赤外線通信器用の USB ドライバソフトウェアのインストールを以下の手順で実施してください。

- ① 三菱電機照明株式会社の WEB サイトの「照明制御ソフト ダウンロード」ページから MILCO.S (Windows 版) 設定・操作アプリケーションダウンロード用ファイル(zip 形式)をダウンロードして解凍してください。  
解凍したフォルダに USB ドライバソフトウェアのインストールに用いる「MILCO\_IR\_Adapter\_installer\_32bit.zip」ファイルと「MILCO\_IR\_Adapter\_installer\_64bit.zip」ファイルが含まれています。
- ② インストールする PC が 32bit 版 OS の場合は「MILCO\_IR\_Adapter\_installer\_32bit.zip」ファイル、64bit 版 OS の場合は「MILCO\_IR\_Adapter\_installer\_64bit.zip」ファイル、の右クリックメニューから、「解凍」→「デスクトップに解凍」と順に選択して解凍してください<sup>3</sup>。
- ③ 解凍することでデスクトップに作成されるフォルダ(32bit 版 OS の場合は「MILCO\_IR\_Adapter\_installer\_32bit」フォルダ、64bit 版 OS の場合は「MILCO\_IR\_Adapter\_installer\_64bit」フォルダ)には、ドライバインストール用実行ファイル(32bit 版 OS の場合は「dpinst\_32bit.exe」、64bit 版 OS の場合は「dpinst\_64bit.exe」)が含まれているのでダブルクリックして実行してください。

<sup>2</sup> UAC 機能が有効な場合は、ユーザーごとに「%USERPROFILE%\AppData\Local\VirtualStore\Program Files\MILIE¥MILCO.S」フォルダに保存されます。

<sup>3</sup> インストールする PC が 32bit 版 OS か 64bit 版 OS か判らない場合には、先に 32bit 版の zip ファイルを解凍してインストールをお試しください。③を実行した際に「このファイルのバージョンは、現在の実行中の Windows のバージョンとは互換性がありません。」という文字列を含むエラーメッセージが表示された場合は 64bit 版の zip ファイルを解凍してインストールしてください。

- ④ “デバイスドライバのインストール ウィザード”画面が表示されるので”次へ”ボタンを押してください。



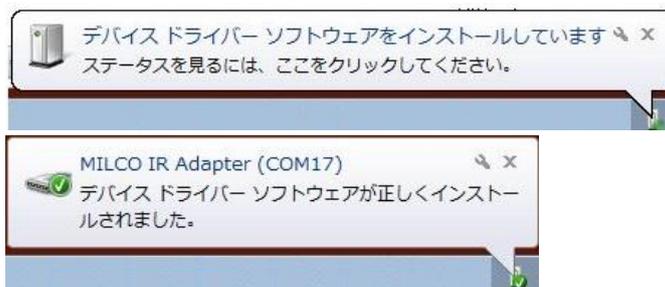
- ⑤ “デバイスドライバのインストール ウィザード”画面と”Windows セキュリティ”画面が表示されるので、”Windows セキュリティ”画面の”インストール(I)”ボタンをクリックしてください。



- ⑥ インストールが始まり、数分後にデバイスドライバのインストールが正常に終了した旨を示す画面が表示されるので”完了”ボタンを押してください。インストールが正常に終了したら②でデスクトップに作成されたフォルダは削除して構いません。



- ⑦ USB 赤外線通信器を PC の USB コネクタに接続してください。PC に USB 標準 TypeA メス側コネクタがない場合は、USB 標準 TypeA メス側コネクタと携帯端末の microUSB コネクタを中継するホストケーブルを介して接続してください。
- ⑧ Windows のタスクバーの通知領域にデバイスドライバインストール中を示す画面が表示された後、しばらく待つとインストールに成功した旨を示す画面が表示され、赤外線リモコンアダプタを使用可能になります。(COM の番号はインストールする PC によって異なります。)



### 2-3. ソフトウェアの起動

本ソフトウェアのインストーラがデスクトップに作成する「MILCO.S 設定アプリ(IR)」のアイコンを左ダブルクリックするか、スタートメニューから「MILIE」⇒「MILCO.S」の下の「MILCO.S 設定アプリ(IR)」を左クリックすることで本ソフトウェアが起動します。

(注. Windows 8.1 ではデスクトップ画面に切り替えてから本ソフトウェアを起動してください。)

起動時には「MILCO.S」設定アプリ(IR)と書かれた起動時画面がデスクトップに数秒表示されます。インストール直後などでは起動に時間がかかる事がありますが、二重起動を防ぐようになっていますので何度もアイコンをダブルクリックしないようにしてください。



起動アイコン

# MILCO.S

起動時画面

## 2-4. ソフトウェアの終了

本ソフトウェアの各画面の右上にある「×」ボタンを左クリックすることでソフトウェアが終了します。

「MILCO.S 照明制御ツールについて」画面と「Microsoft Public License(Ms-PL)」画面を除く、画面右上に「×」ボタンのあるどの画面からでもソフトウェアを終了することができます。

「MILCO.S 照明制御ツールについて」画面と「Microsoft Public License(Ms-PL)」画面では、画面右上の「×」ボタンを押すとその画面のみが閉じます。



## 2-5. ソフトウェアの画面サイズ変更

本ソフトウェアは自由に画面のサイズを変更して使用することができます。

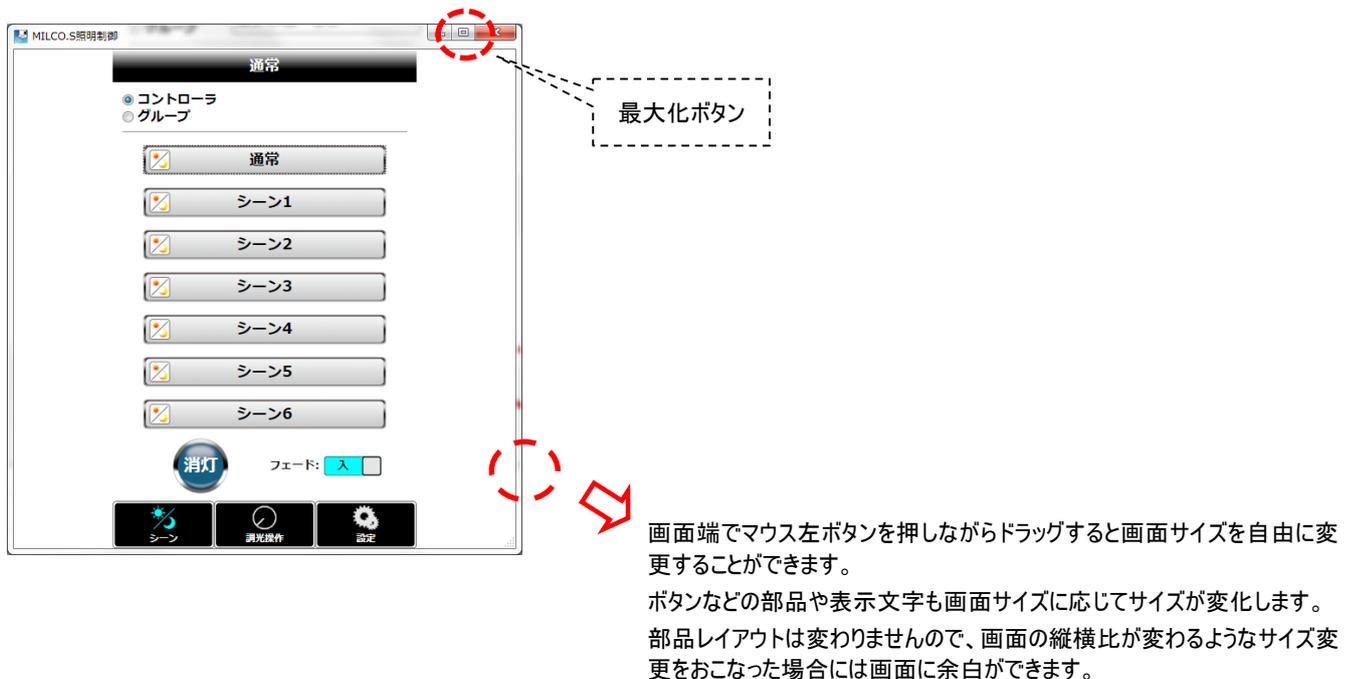
画面内の部品レイアウトは変更されませんが、ボタンなどの部品と文字の大きさが画面サイズに応じて変化します。

部品や文字が小さくて操作しにくい場合は、画面サイズを大きくして操作してください。

本ソフトウェアの画面端にマウスを移動させ、マウスカーソルが矢印になったら左ボタンを押しながらドラッグすることで画面サイズが変わります。一般的な Windows ソフトウェアと同様、画面右上の「□」ボタンを押して最大化することもできます。

終了時の画面表示サイズは保存されます。次回起動した際には最後に変更した表示サイズになります<sup>4</sup>。

終了時に最大化をしていた場合は次回の起動時にも最大化されて表示されます。

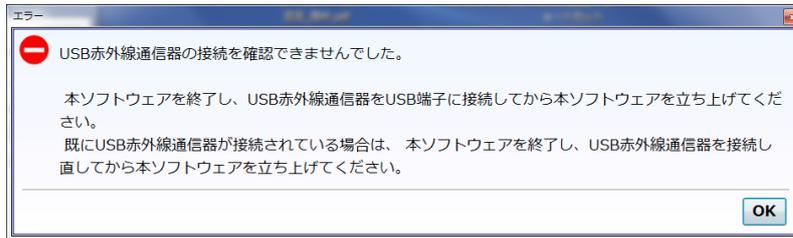


<sup>4</sup> 画面の縦横比が変わるようなサイズ変更をおこない、画面に余白がある状態で終了した場合は、次回起動時には部品の表示サイズは保たれ、画面サイズは余白が無いよう縦横比が調整されます。(最大化表示の場合を除く)

## 2-6. 起動時の初期処理

本ソフトウェアが起動すると、スプラッシュ画面表示中に USB 赤外線通信器との通信確認を行います。

- ① USB 赤外線通信器との接続ができなかった場合、以下のようなメッセージを表示します。



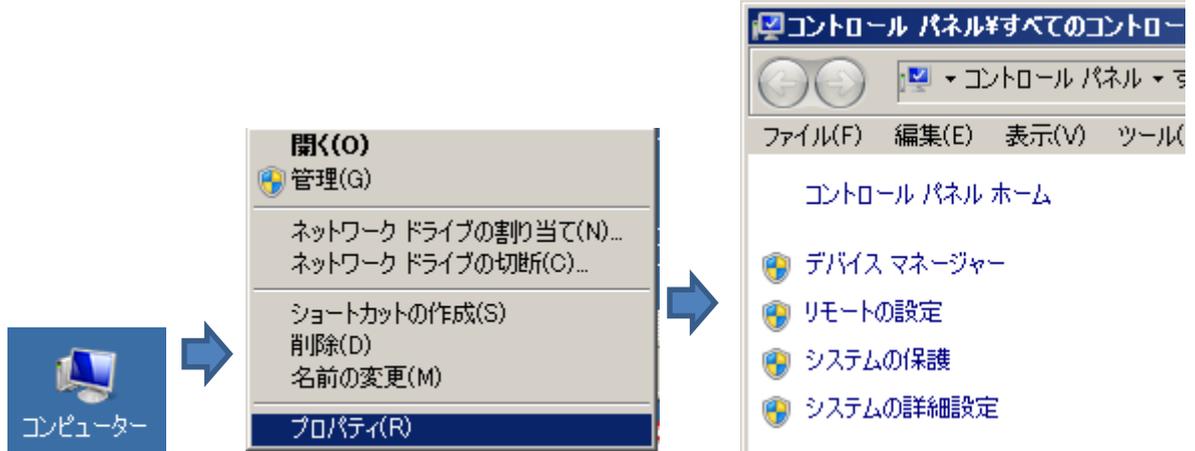
- ② この場合は、本ソフトウェアを終了し、USB 赤外線通信器の接続を確認してから本ソフトウェアを立ち上げ直してください。



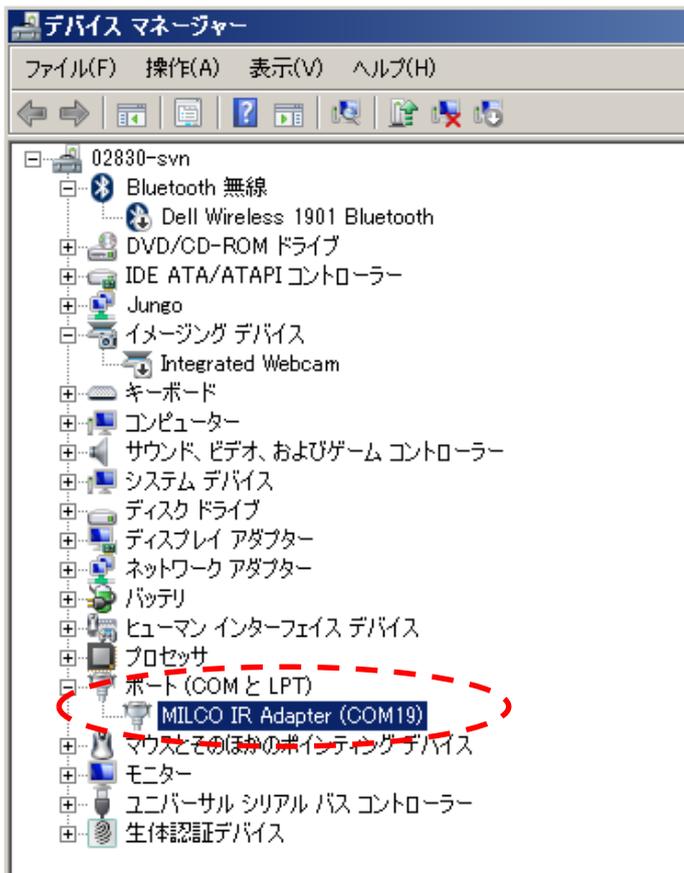
## 2-7. USB ドライバーの確認

USB 赤外線通信器の接続を確認しても正常に本ソフトウェアが立ち上がらない場合、USB ドライバーの確認を実施ください。

- ① デスクトップ画面の「コンピュータ」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択し、コントロールパネルを開いてください。



- ② コントロールパネルから「デバイスマネージャー」を選択し、デバイスマネージャーの画面で、ポート(COM と LPT)の下の「MILCO IR Adapter(COM19)」が表示されている事を確認ください。  
「MILCO IR Adapter(COM19)」が無い場合は、再度「2-2 USB ドライバーソフトウェアのインストール」を実施ください。  
COM の番号はインストールする機器毎に違います。



## 3. 画面一覧

画面名	機能	設定対象
スプラッシュ画面	本ソフトウェアの起動時に表示します。	—
シーン選択画面	シーンの選択、消灯をおこないます。	コントローラ/グループ
調光操作画面	調光率変更・色温度変更(色温度制御時のみ)をおこないます。	
設定		—
シーン設定画面	シーンごとの調光詳細設定をおこないます。	コントローラ
スケジュール設定画面		—
スケジュール実行	コントローラにスケジュールの実行を指示します。	—
スケジュール実行画面	現行スケジュール実行、特定日スケジュール実行、人感センサ連動実行、スケジュール停止、のいずれかをコントローラに指示します。	コントローラ
スケジュールパターン設定	スケジュールパターンを設定します。 時刻モードのスケジュールパターンでは時刻ごとのシーンを設定します。 人感センサ連動でスケジュールを実行する際に用いるタイマーモードのスケジュールパターンでは分:秒でシーンの実行時間を設定します。	
週間スケジュール設定	週間スケジュールを設定します。 月～日のそれぞれの曜日のスケジュールパターンを選択します。	
年間スケジュール設定	年間スケジュールを設定します。 カレンダーで指定した特定日のスケジュールパターンを選択します。	
スケジュール確認	スケジュール確認画面を表示します。	—
ステップ実行	“ステップ実行”ボタンを押すたびにスケジュールパターンのステップを進めることで確認します。	コントローラ
時間短縮実行	スケジュールパターンが“時刻”モードの場合に、1時間を6秒に短縮してスケジュールパターンを実行することで確認します。	
スケジュール確認停止	スケジュール確認を停止します。停止後は現在の調光率・色温度でのマニュアル運転に移行します。	
運用設定画面	調光出力モード、照度センサ感度、照度制御、人感センサ検知、接点機能、最大電力値、復電モード、調光信号、日時、アドレス・グループ、異常表示、その他の各カテゴリの運用設定をおこないます。	
設定データ管理画面		—
一括送受信	シーン設定、スケジュール設定、運用設定の一括送信・一括受信をおこないます。	コントローラ
ファイル保存・読出	本ソフトウェア内の設定内容をファイルに保存したり、ファイルから設定内容を本ソフトウェアに読出したりします。	本ソフトウェア
ワイヤレス設定	コントローラと照明器具間の無線通信で使用される「システムID設定」と「コントローラシステムID」モニタを行います。また、「無線情報初期化」でコントローラシステムのIDを工場出荷に戻します。	本ソフトウェア
通信設定	無線 LAN モード、ネットワークID、ネットワークパスワード、IP アドレス、無線チャンネル、デフォルト GW の通信設定をおこないます。	設備インターフェース機器 ・MS851
名称変更	本ソフトウェアで表示される、グループ名を変更することができます。	本ソフトウェア
ソフトウェア設定画面	本ソフトウェアで表示されるメッセージボックスやツールチップの文字の大きさを変更することができます。	

### 3-1. スプラッシュ画面

#### 3-1-1. 概要

起動直後に表示される画面です。

起動時にはアニメーション表示中に通信確認や構成情報取得がおこなわれます。

正常に構成情報を取得できた場合には、“開始”ボタンが表示されます。

#### 3-1-2. 画面仕様



図 3-1[スプラッシュ画面]

## 3-1-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
初期表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>USB 赤外線通信器と通信可能できた場合、「開始」ボタンを表示します。</li> <li>USB 赤外線通信器との通信に問題があった場合はエラーメッセージを表示し、「終了」ボタンを表示します。</li> </ul>	
「開始」ボタンが表示されているときに「開始」ボタンを左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>シーン選択画面に遷移します。</li> </ul>	
「終了」ボタンが表示されているときに「終了」ボタンを左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>本ソフトウェアを終了します。</li> </ul>	画面右上の「×」ボタンを押しても本ソフトウェアを終了します。
「about」ボタンを左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>「MILCO.S 照明制御ソフトウェアについて」画面を表示します。著作権表示、本ソフトウェアに用いられているオープンソースのライブラリの情報、および、「Microsoft Public License(Ms-PL)」を表示するための「about Ms-PL」ボタンが表示されます。</li> <li>画面は右上の「×」ボタンを押すことで閉じます。</li> </ul>	
「MILCO.S 照明制御ツールについて」画面の「about Ms-PL」ボタンを左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Microsoft Public License(Ms-PL)」画面を表示します。本ソフトウェアで用いられているオープンソースのライブラリのライセンスである Microsoft Public License(Ms-PL)の内容が表示されます。</li> <li>「Microsoft Public License(Ms-PL)」画面は右上の「×」ボタンを押すことで閉じます。</li> </ul>	

## 3-2. 【共通】対象選択部

### 3-2-1. 概要

設定対象を指定する必要がある設定画面では、対象選択部を用いて設定対象を選択します。

対象選択部は、設定対象を指定する必要がある設定画面の上部に表示されます。

ドロップダウンメニュー<sup>5</sup>になっていますので、対象選択部の上でマウス左クリックすると選択肢が表示されます。

グループ操作の場合はグループ番号を、選択します。

名称変更画面でグループ名を変更した場合は、グループのドロップダウンメニューには変更後の名称が表示されます。

(注. 名称変更画面では同一名称を複数のグループに設定することも可能ですが、同じ名称を複数のグループに設定しても本ソフトウェアで表示される名称が変わるだけですので、別のグループとして扱われます。

操作ミスを防ぐため、同一名称を複数のグループに設定することは避けてください。)

### 3-2-2. 画面仕様



図 3-2[対象選択部]

<sup>5</sup> 本ソフトウェアの Ver.1.00 では上下の▲印部で選択を切り替えていましたが、Ver.1.01 ではドロップダウンメニューからの選択に変わりました。

## 3-2-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「コントローラ」ラジオボタン 「グループ」ラジオボタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定対象を選択します。</li> <li>画面によって選択対象が異なりますので、選択できないラジオボタンは表示されません。</li> </ul>	
コントローラ選択時	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラを選択します</li> </ul>	
グループ選択時	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ番号、またはグループ名称(名称変更をおこなった場合)を選択します。</li> </ul>	
グループ番号	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドロップダウンメニューでグループ番号を選択します。  <input type="text"/> 枠内をクリックするとグループ番号のドロップダウンリストが表示されますのでリスト内の候補から選択してください。   </li> <li>名称変更画面で名称を変更した場合は <input type="text"/> 枠内をクリックすると名称変更後のグループ名称のドロップダウンリストが表示されますのでリスト内の候補から選択してください</li> </ul>	範囲: グループ 1～最大 255 ※有効なグループのみが選択対象になります。

### 3-3. 【共通】送信・受信ボタン

#### 3-3-1. 概要

送信ボタンは、USB 赤外線通信器経由で、現在選択している対象に画面で設定した値を送信するために用います。

受信ボタンは、USB 赤外線通信器経由で、現在選択している対象の最新の情報を受信し画面に表示するために用います。

送信ボタン、受信ボタンは、それぞれ送信、受信が画面単位でおこなわれる機能のある画面でのみ表示されます。ただし、例えば調光操作画面のように、各ボタンの押下やスライダーの操作により直接送信がおこなわれる機能のみの画面では送信ボタンは表示されません。

#### 3-3-2. 画面仕様



送信ボタン有効時

送信・受信ボタン有効時

図 3-3[送信・受信ボタン]

#### 3-3-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>USB 赤外線通信器経由で、現在選択している対象に画面で設定した値を送信します。</li> </ul>	
「受信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>USB 赤外線通信器経由で、現在選択している対象の最新情報を受信します。受信した値は画面に反映されます。</li> </ul>	

### 3-4. 【共通】タブメニュー

#### 3-4-1. 概要

タブメニューは、シーン選択画面、調光操作画面、設定画面の間で画面を表示させるために用います。

現在表示中の画面のタブはアイコンが薄青色で表示されます。

設定画面のみ下位の階層の画面があり、下位階層の画面を表示した後にタブメニューで他の画面を表示し再度設定画面を選択した場合は設定画面が表示されます。前回表示していた画面にはなりませんので再度選択してください。

#### 3-4-2. 画面仕様



図 3-4[タブメニュー]

#### 3-4-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「シーン」ボタン左クリック	・ シーン選択画面を表示します。	
「調光操作」ボタン左クリック	・ 調光操作画面を表示します。	
「設定」ボタン左クリック	・ 設定画面を表示します。	

### 3-5. 【共通】時刻・時間選択部

#### 3-5-1. 概要

時刻・時間選択部は、スケジュールパターン設定画面、運用設定画面の日時設定画面で、時刻または時間を選択するために用います。スケジュールパターン設定画面でスケジュールモードが“時刻”の場合は“時：分”を選択し、“タイマー”の場合には“分：秒”を選択します。本項では“時：分”を選択する場合を前提で説明します。スケジュールモードが“タイマー”で“分：秒”を選択する場合には“時”を“分”、“分”を“秒”にそれぞれ読み替えてください。

#### 3-5-2. 画面仕様



図 3-5[時刻・時間選択部]

#### 3-5-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「時選択部」左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>“時”の候補がドロップダウンリストで表示されます。表示された“時”の中から左クリックで選択してください。</li> <li>選択された“時”が「時選択部」に表示されます。</li> </ul>	
「分選択部」左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>“分”の候補がドロップダウンリストで表示されます。表示された“分”の中から左クリックで選択してください。</li> <li>選択された“分”が「時選択部」に表示されます。</li> </ul>	
「時:分選択部」左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>5 分刻みの“時:分”の候補がドロップダウンリストで表示されます。表示された“時:分”の中から左クリックで選択してください。</li> <li>選択された“時:分”の“時”と“分”がそれぞれ「時選択部」、「分選択部」に表示されます。</li> <li>ドロップダウンリスト中で最初に選択されている“時:分”は「時選択部」、「分選択部」の選択に応じて変わります。「時:分選択部」は 5 分刻みのため、5 分単位でない“分”が選択されている場合は 5 分単位に切り捨てられます。 (例: “10”時“24”分が選択されている場合、“10:20”がドロップダウンリスト中で最初に選択された状態になります。)</li> <li>「時:分選択部」では 5 分刻みの時刻しか選択できませんので、1 分刻みの時刻を選択する場合は「分選択部」を使用して調整してください。</li> </ul>	

### 3-6. 【共通】インフォメーション表示

#### 3-6-1. 概要

インフォメーション表示機能は、各種設定画面で設定項目に関する入力可能な値の範囲情報や選択肢に関する情報を表示します。

マウス操作を用いる PC では、項目の右側にある青丸に囲まれた”i”部の上にマウスカーソルを移動させると情報がツールチップ表示されます。マウスカーソルをずらすとツールチップ表示が消えます。

タッチ操作を用いる PC では、項目の右側にある青丸に囲まれた”i”部の上でタッチすると情報がツールチップ表示されます。もう一度タッチするとツールチップ表示が消えます。

ツールチップ表示の文字の大きさは、ソフトウェア設定画面において、“メッセージ文字サイズ”項目の値をスライダーで変更することで変更することができます。文字サイズを大きくし過ぎると PC 画面内に収まらなくなりますので、その場合はメッセージ文字サイズの値を小さくしてください。

#### 3-6-2. 画面仕様



図 3-6[インフォメーション表示]

#### 3-6-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
<ul style="list-style-type: none"> <li>青丸に囲まれた”i”部の上にマウス移動 (マウス操作の PC の場合)</li> <li>青丸に囲まれた”i”部の上でタッチ (タッチ操作の PC の場合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>該当項目に入力可能な値の範囲情報や選択肢に関する情報を表示します。</li> </ul>	

### 3-7. 【共通】エラー表示

#### 3-7-1. 概要

エラー表示では、設定画面の各項目に設定できない値を入力欄に入力した場合に、入力欄を赤枠表示し、赤丸に囲まれた”i”を表示します。

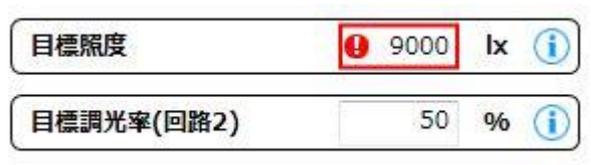
マウス操作の場合は、赤丸に囲まれた”i”部にマウスを移動させると入力可能な値の範囲を表示します。

タッチ操作の場合には入力可能な値の範囲は表示されませんので、ソフトウェア表示機能で入力可能な値の範囲を確認してください。

設定できない値が入力され画面内に赤枠表示がある状態では、画面遷移、設定対象の選択、設定値の送信をおこなうことができなくなります。設定値の受信はおこなうことができます。

設定可能な値に修正することで赤枠表示が消え、画面遷移、設定対象の選択、設定値の送信が可能になります。

#### 3-7-2. 画面仕様



項目に設定できない値の入力時



赤丸に囲まれた”i”部にマウス移動時

図 3-7[エラー表示]

#### 3-7-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
入力欄に該当項目に設定できない値を入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>該入力欄が赤枠表示になり、枠内に赤丸に囲まれた”i”部が表示されます。</li> </ul>	
赤枠表示内にマウス移動(マウス操作時のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>該項目の入力可能な値の範囲を 5 秒間表示します。表示が消えた場合、再度マウスを移動させると 5 秒間表示します。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>タブメニュー、”戻る”ボタン、対象選択部、”送信”ボタン、にマウス移動(マウス操作時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面内に赤枠表示がある場合はマウスを移動すると薄い表示になり操作が無効化されます。値を修正し赤枠がなくなってから再度マウスを移動すると濃い表示に戻り有効化されます。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>タブメニュー、”戻る”ボタン、対象選択部、”送信”ボタン、でタッチ操作(タッチ操作時)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面内に赤枠表示がある場合はタッチ操作をすると薄い表示になり操作が無効化されます。値を修正し赤枠がなくなってから再度タッチ操作をすると操作がおこなわれます(薄い表示のままでもタッチすると操作がおこなわれます)。</li> </ul>	

## 3-8. 【共通】印刷機能

### 3-8-1. 概要

スプラッシュ画面以外の画面ではタイトル部をマウス右クリックすると印刷機能が含まれるコンテキストメニューが表示されます。

コンテキストメニューから”印刷”を選ぶと Windows の標準の印刷画面が表示されます。印刷画面で印刷先(プリンタ、PDF ライター等)を選択し、”印刷(P)”ボタンを押すと本ソフトウェアの画面ハードコピーが印刷されます。

タイトル部のマウス右クリックで表示される印刷機能では、画面に表示されているままに印刷されますので、シーン設定画面、特定日一覧画面、名称変更画面でスクロール部の隠れている部分は印刷されません。スクロールバーを操作して印刷が必要な部分を表示させながら、それぞれ印刷してください。シーン設定画面では設定値入力部で、特定日一覧画面では特定日一覧表示部で、それぞれ右クリックすると表示されるコンテキストメニューから印刷をおこなうと、スクロールで隠れている部分も含めて印刷することもできます(画面全体ではなくその部分のみの印刷になります)。

運用設定画面では選択されて表示されているカテゴリのみが印刷されますのでカテゴリ選択部でカテゴリを変更して印刷が必要な部分を表示させ、それぞれのカテゴリで印刷してください。

### 3-8-2. 画面仕様

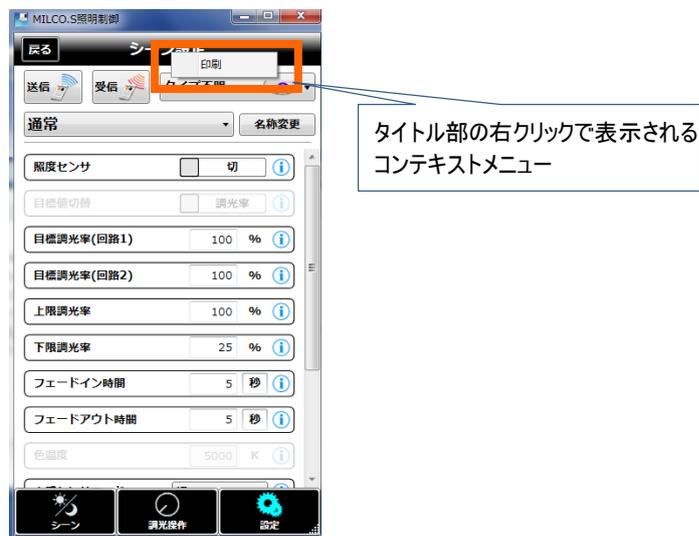


図 3-8[タイトル部のコンテキストメニュー表示]

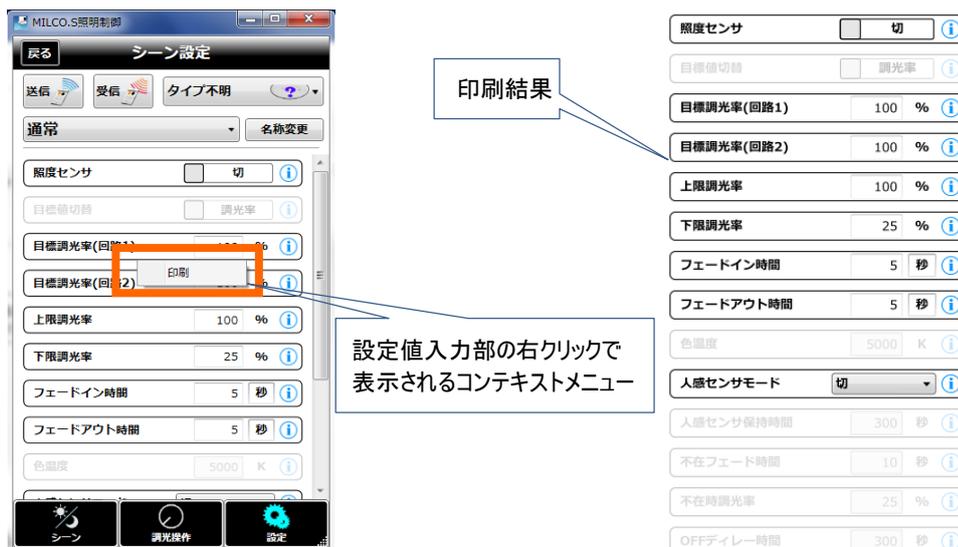


図 3-9[シーン画面の設定値入力部のコンテキストメニュー表示と印刷結果例]

## 3-8-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
タイトル部でマウス右クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷が可能な画面でタイトル部を右クリックすると”印刷”が含まれるコンテキストメニューが表示されます。</li> <li>・ 印刷”を選択すると Windows の標準の印刷画面が表示されますので、印刷先プリンタを選んで”印刷(P)”ボタンを押すと画面のハードコピーが印刷されます。印刷先が PDF ライターや Microsoft XPS Document Writer の場合はツールに対応したファイルが作成されます。</li> </ul>	
シーン設定画面の設定値入力部でマウス右クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ”印刷”が含まれるコンテキストメニューが表示されます。</li> <li>・ 設定値入力部のみがスクロールで隠れている部分も含めて印刷対象になります。</li> </ul>	スクロールする設定値入力部内のどこで右クリックしてもコンテキストメニューが表示されます。
特定日一覧画面の特定日表示部でマウス右クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ”印刷”が含まれるコンテキストメニューが表示されます。</li> <li>・ 特定日表示部のみがスクロールで隠れている部分も含めて印刷対象になります。</li> </ul>	スクロールする特定日表示部内のどこで右クリックしてもコンテキストメニューが表示されます。

### 3-9. 【共通】タッチパネル、タブレット PC でのタッチ操作

#### 3-9-1. 概要

タッチパネル、タブレット PC などのタッチ操作対応端末では、タッチ操作(ペンタッチ含む)を用いて本ソフトウェアを使用する事ができます。マウス操作とタッチ操作とは表 3-1 に示す点で操作方法に違いがあります。

表 3-1 マウス操作とタッチ操作の操作方法の違い

	マウス操作	タッチ操作
左クリック操作	<ul style="list-style-type: none"> <li>マウスの左ボタンをクリックする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面をタップ<sup>6</sup>する。</li> </ul>
右クリック操作 (年間スケジュール画面で日付選択後にスケジュールを選択する画面を表示する際、および、各画面で印刷機能を使用する際に使用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>マウスの右ボタンをクリックする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面をロングタップ(長押し)<sup>7</sup>する。 (注. 端末のタッチパネルの設定で、“右クリック設定”を初期値の“ロングタップ”から他の動作に変更している場合は、変更した動作での操作をおこなってください。)</li> </ul>
スクロール操作 (スクロールバーが表示されている画面で項目をスクロールする際に使用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクロールバーのつまみの上で左クリックしながらマウスを動かす。</li> <li>項目画面内でマウスのホイールを回す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクロールバーのつまみの上でタップしながらスライドさせる。</li> <li>項目画面内をタッチしたままスライドさせる。</li> </ul>
インフォメーション表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目の右側にある青丸に囲まれた“i”部の上でマウスカーソルを動かすと情報が表示される。</li> <li>青丸に囲まれた“i”部からマウスカーソルを別の場所に動かすと情報が表示されなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目の右側にある青丸に囲まれた“i”部の上でタップすると情報が表示される。</li> <li>情報が表示された状態で青丸に囲まれた“i”部の上や画面内の空白部で再度タップすると情報が表示されなくなる。</li> <li>画面の遷移やスクロール操作などがあった場合、情報が表示されなくなる。</li> <li>情報が表示された状態で他の項目の青丸に囲まれた“i”部の上でタッチすると、前の情報表示は消え、新たにタップした項目の情報が表示される。</li> </ul>
エラー表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>赤枠表示内にマウス移動をすると入力可能な値の範囲が表示される。</li> <li>画面内に赤枠表示がある場合は、タブメニュー、“戻る”ボタン、対象選択部、“送信”ボタン、にマウスを移動すると薄い表示になり操作が無効化される。値を修正し赤枠がなくなつてから再度マウスを移動すると濃い表示に戻り有効化される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラー表示では入力可能な値の範囲は表示されない。インフォメーション表示機能で入力可能な値の範囲を確認する。</li> <li>画面内に赤枠表示がある場合は、タブメニュー、“戻る”ボタン、対象選択部、“送信”ボタン、でタッチ操作をすると薄い表示になり操作が無効化される。値を修正し赤枠がなくなつてから再度タッチ操作をすると操作がおこなわれる(薄い表示のままでも操作可能)。</li> </ul>
テキストボックスへの値入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定値を入力するテキストボックスをクリックし、キーボードを用いて値を入力する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定値を入力するテキストボックスをクリックするとキーパッド(図 3-10 参照)が表示されるのでキーパッドを用いて値を入力する。キーボード(ソフトウェアキーボード含む)を用いて値を入力することも可。</li> </ul>

<sup>6</sup> 画面にタッチし、すぐ離す動作。

<sup>7</sup> 画面にタッチし、しばらくタッチしたままにしてから離す動作。

## 3-9-2. キーパッド画面仕様

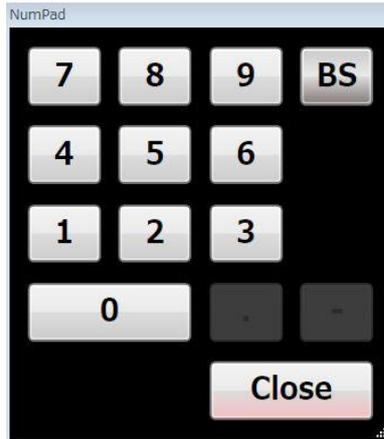


図 3-10[キーパッド画面]

## 3-9-3. キーパッド動作仕様

項目	動作説明	備考
数字ボタンをタッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストボックスのカーソル(点滅する縦線)位置にタッチした数字が入力されます。</li> </ul>	
“.”ボタンをタッチ (小数点を入力しないテキストボックスから表示した場合は薄い表示になりタッチできません)	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストボックスのカーソル(点滅する縦線)位置に小数点が入力されます。</li> </ul>	
“-”ボタンをタッチ (負の値を入力しないテキストボックスから表示した場合は薄い表示になりタッチできません)	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストボックスの値の先頭に“-”が入力されます。</li> <li>“-”を消したい場合は“BS”ボタンを使用してください。</li> </ul>	
“BS”ボタンをタッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>テキストボックスのカーソル(点滅する縦線)位置の前の文字を一文字消去します。</li> </ul>	
“Close”ボタンをタッチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーパッド画面を閉じます。</li> </ul>	
キーパッド画面端をドラッグ	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーパッド画面の大きさを変えることができます。</li> <li>変更後の大きさは保存されます。次にキーパッド画面を表示した際には前回の大きさになります。</li> </ul>	

### 3-10. シーン選択画面

#### 3-10-1. 概要

コントローラまたはグループ単位で、通常／シーン 1～6 の選択、または消灯操作をおこないます。<sup>8</sup>

#### 3-10-2. 画面仕様



図 3-11[シーン選択画面]

<sup>8</sup> 本ソフトウェアの Ver.1.0.0 にあった”自動”ボタンは無くなりました。Ver.1.10 以降では「通常の名称」ボタンを押すと同等の操作になります。

## 3-10-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。</li> </ul>	
シーン選択ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定対象のコントローラまたはグループに対して表示されているシーン(“通常”含む)での照明制御を指示します。</li> <li>シーン設定画面で名称を変更している場合は、ボタンには変更後の名称が表示されます。</li> </ul>	
「消灯」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定対象のコントローラまたはグループに対して消灯を指示します。</li> </ul>	実行中のシーンは解除されます。
フェード:「入」/「切」トグルボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>シーン実行時または消灯実行時にフェード処理をおこなうかどうかを指定します。</li> <li>「入」と表示されている場合はフェード処理あり、「切」と表示されている場合はフェード処理無しになります。</li> <li>トグルボタンになっているので、「入」時に左クリックすると「切」に、「切」時に左クリックすると「入」に変わります。</li> </ul>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

## 3-11. 調光操作画面

### 3-11-1. 概要

コントローラまたはグループ単位で調光(消灯含む)／調色の制御を行います<sup>9</sup>。

対象がコントローラの場合、初期状態では、回路 1、回路 2 の調光操作部が表示されており、調色操作部は表示されません。

調色操作部を表示させたい場合は、運用設定画面で“調光出力モード設定”カテゴリを選択し、調光出力モード欄から“色温度制御”を選択してから本画面に戻ってください。本画面で“受信”ボタンを押し、コントローラの調光出力モードが色可変制御になっている場合にも調色操作部が表示されます。

対象がグループの場合は常に調色操作部が表示されます。ただし、対象グループに含まれているコントローラの調光出力モードが“色温度制御”でない場合は、操作をおこなっても各コントローラの照明制御に影響を与えません。

### 3-11-2. 画面仕様



調光出力モードが色温度制御以外の  
コントローラが対象の場合

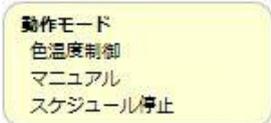
調光出力モードが色温度制御の  
コントローラが対象の場合

グループが対象の場合

図 3-12[調光操作画面]

<sup>9</sup> 本ソフトウェアの Ver.1.00 では回路を選択をしていますが、本バージョンでは回路1、回路2の調光を1画面でおこなうため、コントローラを選択になりました。

## 3-11-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
対象選択部	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象選択部の操作は 3-2 項を参照してください。</li> </ul>	
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在表示されている調光率を送信します。色温度制御に設定された場合は、色温度も制御されます。</li> </ul>	
「受信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在選択している対象コントローラの最新情報を取得します。取得した値は画面に反映されます。</li> <li>受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループからは最新情報を取得できません。</li> <li>グループ指定の場合、受信ボタンは薄い表示になり操作できません。</li> </ul>
調光率	<ul style="list-style-type: none"> <li>取得した現在の調光率(%)を表示します。回路 1、回路 2 を個別に調整できる場合は、「調光率(回路 1)」、「調光率(回路 2)」とそれぞれ表示されます。</li> <li>調光スライダードラッグ時、または、▲/▼ボタン操作時には送信する調光率が表示されます。</li> <li>初期表示は“—%”です。</li> </ul>	
動作モード	<ul style="list-style-type: none"> <li>取得した現在実行中の動作モードを表示します。</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>以下の情報を表示します。           <ol style="list-style-type: none"> <li>調光出力モード(個別制御   色温度制御   バランス制御   昼光センサ制御)</li> <li>通常   シーン 1~シーン 6   マニュアル</li> <li>スケジュール停止   スケジュール実行   人感センサ連動実行</li> </ol> </li> <li>初期表示は“—”です。</li> </ul>	グループ指定の場合、動作モード部は薄い表示になります。
調光		
スライダードラッグ	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定対象のコントローラまたはグループに、スライダのバーを離れた時の調光率の値を送信します。回路 1、回路 2 を個別に調整できる場合は、「調光(回路 1)」、「調光(回路 2)」とそれぞれ表示されます。</li> <li>調光率を取得した場合、取得した調光率の位置に移動します。</li> <li>スライダー部をクリックした場合、その位置にバーが移動し、移動後の調光率値を送信します。</li> </ul>	範囲: 0 または 5~100% 初期値: 50%(中央)  スライド操作途中の調光率は送信されないため、調光の連続可変はできません。
「▲」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンクリックで上限値まで 1%単位で調光率を増やします。</li> <li>設定対象のコントローラまたはグループに、ボタンから離れた時の調光率の値を送信します。</li> </ul>	押している間の調光率は送信されないため、調光の連続可変はできません。
「▼」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンクリックで下限値まで 1%単位で調光率を減らします。</li> <li>設定対象のコントローラまたはグループに、ボタンから離れた時の調光率の値を送信します。</li> </ul>	押している間の調光率は送信されないため、調光の連続可変はできません。
「Off」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定対象のコントローラまたはグループに消灯信号を送信します。</li> <li>調光率、電力の表示値は 0 になります。</li> </ul>	
調色 (色温度制御対応の照明の制御時のみ有効)		対象がコントローラの場合、コントローラの調光出力モードが“色温度制御”に設定されている場合にのみ表示さ

		れます。
スライダードラッグ	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定対象のコントローラまたはグループに、スライダーのバーを離れた時の調色値を送信します。</li> <li>調色値を取得した場合、取得した調色値の位置に移動します。</li> <li>現在の色温度がスライダー上に表示されます。</li> <li>スライダー部をクリックした場合、その位置にバーが移動し、調色値を送信します。</li> </ul>	<p>範囲： 電球色 LED 色温度 ～昼白色 LED 色温度</p> <p>初期値： 4000K(中央)</p> <p>スライド操作途中の調色値は送信されないため、調色の連続可変はできません。</p>
「電球色 LED 色温度」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンに電球色 LED 色温度の設定値が表示されます。</li> <li>設定対象のコントローラまたはグループに、電球色 LED 色温度の調色値を送信します。</li> </ul>	<p>対象がコントローラの場合、“受信”を行うことで電球色 LED 色温度の設定値が表示されます。</p> <p>対象がグループの場合はデフォルトの電球色 LED 色温度になります。</p>
「▲」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンクリックで上限値まで 10(長押しは 100)単位で調色値を増やします。</li> <li>設定対象のコントローラまたはグループに、ボタンから離れた時の調色値を送信します</li> </ul>	<p>押している間の調色値は送信されないため、調光の連続可変はできません。</p>
「▼」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンクリックで上限値まで 10(長押しは 100)単位で調色値を減らします。</li> <li>設定対象のコントローラまたはグループに、ボタンから離れた時の調色値を送信します</li> </ul>	<p>押している間の調色値は送信されないため、調光の連続可変はできません。</p>
「昼白色 LED 色温度」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンに昼白色 LED 色温度の設定値が表示されます</li> <li>設定対象のコントローラまたはグループに、昼白色 LED 色温度の調色値を送信します。</li> </ul>	<p>対象がコントローラの場合、“受信”を行うことで昼白色 LED 色温度の設定値が表示されます。</p> <p>対象がグループの場合はデフォルトの昼白色 LED 色温度になります。</p>
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

## 3-12. 設定画面

### 3-12-1. 概要

シーン設定、スケジュール設定、運用設定、設定データ管理、ワイヤレス設定、通信設定、名称変更、ソフトウェア設定の 8 つのメニューがあり、いずれかを左クリックすると対応する設定画面に遷移します。

### 3-12-2. 画面仕様



図 3-13[設定画面]

## 3-12-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「シーン設定」ボタン左クリック	・ シーン設定画面を表示します。	
「スケジュール設定」ボタン左クリック	・ スケジュール設定画面を表示します。	
「運用設定」ボタン左クリック	・ 運用設定画面を表示します。	
「設定データ管理」ボタン左クリック	・ 設定データ管理画面を表示します。	
「ワイヤレス設定」ボタン左クリック	・ ワイヤレス設定画面を表示します。	
「通信設定」ボタン左クリック	・ 通信設定画面を表示します。	
「名称変更」ボタン左クリック	・ 本ソフトウェアでのコントローラ、グループの表示名称の変更が可能な、名称変更画面を表示します。	
「ソフトウェア設定」ボタン左クリック	・ ソフトウェア設定画面を表示します。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

### 3-13. 設定—シーン設定画面

#### 3-13-1. 概要

コントローラに対して、通常、および、シーン1～6の照明制御値の設定をおこないます。

回路1、回路2は、目標照度／目標調光率以外の設定値は同一となります。目標照度と目標調光率は同時に設定できません<sup>10)</sup>ので、目標値切替欄で”目標照度”、”目標調光率”のどちらを用いて設定するかを選択してください。

#### 3-13-2. 画面仕様



図 3-14[シーン設定画面]

<sup>10)</sup> ”目標照度、目標調光率のいずれかの値を送信した場合、連動してコントローラ内のもう一方の設定値も変更されます。例えば、調光率100%時の照度が1000lxの場合、コントローラの目標調光率を70%に設定すると目標照度も連動して700lxに変更されます。調光率100%時の照度設定値は運用設定画面の”照度センサ感度設定”カテゴリにある”初期照度”欄で確認できます。

## 3-13-3. 動作仕様

(“通常”もシーンの一つですので下表中では区別せず表現します。)

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定メニュー一覧に戻る。</li> </ul>	
「受信」ボタン左クリック時	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在選択している対象コントローラの最新情報を取得します。取得した値は画面に反映されます。</li> <li>受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	対象がグループの場合は薄い表示になり操作できません。
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在選択している対象に画面表示値を設定します。</li> <li>送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	
「コントローラタイプ」ドロップダウンリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>枠内をクリックするとコントローラタイプのドロップダウンリストが表示されますのでリスト内の候補から対象のタイプ選択してください。</li> </ul>	タイプが分からない場合は「タイプ不明」としてください。
「シーン名称」ドロップダウンリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>枠内をクリックするとシーン名称のドロップダウンリストが表示されますのでリスト内の候補から対象のシーンを選択してください。</li> <li>名称部の右側にある「名称変更」ボタンを左クリックすることで選択中のシーンの名称を変更することができます。</li> <li>「変更完了」ボタンを押すとシーン名称選択に戻ります。</li> <li>最大表示幅<sup>11</sup>を超える名称に変更した場合は、最大表示幅を超えた文字は切り捨てられます。</li> </ul>	名称変更時に名称重複や空文字列の確認はおこなわれません。
シーン		
照度センサ	<ul style="list-style-type: none"> <li>照度センサを用いるかどうかを指定します。</li> <li>照度センサを使用しない、または照度センサが無いコントローラも”切”で設定してください。</li> <li>初期表示は“入”です。</li> </ul>	
目標値切替	<ul style="list-style-type: none"> <li>調光時の目標値を調光率とするか照度とするかを選択します。</li> <li>初期表示は“調光率”です。</li> <li>照度センサを”切”にした場合はこの欄の選択に関わらず、調光率が目標値となります。</li> </ul>	
目標照度／目標調光率		
目標調光率(回路 1) 目標調光率(回路 2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別制御の場合、回路 1 と回路 2 にそれぞれの目標調光率を設定できます。</li> </ul>	
目標照度	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別制御の場合、回路 1 に目標照度、回路 2 に目標調光率が設定できます。</li> </ul>	
上限調光率	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値を入力します。</li> </ul>	
下限調光率	<ul style="list-style-type: none"> <li>下限調光率が上限調光率を上回る設定はできません。</li> </ul>	
フェードイン時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位を秒にするか分にするかを選択できます。</li> </ul>	
フェードアウト時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>単位が秒の場合、0～180 秒の間の 1 秒刻みの値、または、180～4680 秒の間の 60 秒刻みの値を入力してください。</li> <li>(単位が分の場合、0～78 分の間の値を入力してください。)</li> </ul>	
色温度	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象がコントローラの場合は、対象コントローラの調光出力モードが“色温度制御”に設定されている場合にのみ変更可能となります。</li> <li>対象がグループの場合は常に変更可能です。</li> <li>運用設定画面で対象コントローラの白色 LED 色温度、電球色 LED 色温度を変更することができます。</li> <li>初期表示は電球色 LED 色温度：3000/白色 LED 色温度：5000K になります。</li> </ul>	
「人感センサモード」ドロップダウンリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドロップダウンリストから人感センサのモード(「通常」モード、「省エネ」モード、「残値」モード)を選択してください。</li> <li>初期表示は“切”です。</li> </ul>	

<sup>11</sup> 全て全角の場合は最大 12 文字。半角では使用する文字の幅によって最大文字数が変わります。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人感センサモードが「切」の場合、「人感センサ保持時間」、「不在フェード時間」、「不在時調光率」、「OFF デイレー時間」は薄い表示になり、設定不要になります。</li> <li>・ 人感センサモードが「通常」、「残置」の場合に「OFF デイレー時間」は薄い表示になり、設定不要になります。</li> </ul>	
「不在時調光率」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数値を入力します。</li> </ul>	
「人感センサ保持時間」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人感センサモードが「切」の場合、設定不要になります。</li> </ul>	
「不在フェード時間」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設定不要の場合も表示値は送受信されます。</li> </ul>	
「OFF デイレー時間」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 値を入力します。</li> <li>・ 人感センサモードが「省エネ」の場合にのみ設定要になります。</li> <li>・ 設定不要の場合も表示値は送受信されます。</li> </ul>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画面を切り替えます。</li> <li>・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

### 3-14. 設定—スケジュール設定画面

#### 3-14-1. 概要

スケジュール実行、スケジュールパターン、週間スケジュール、年間スケジュール、スケジュール確認の 5 つのメニューがあり、いずれかを左クリックすると各項目を表示します。

#### 3-14-2. 画面仕様

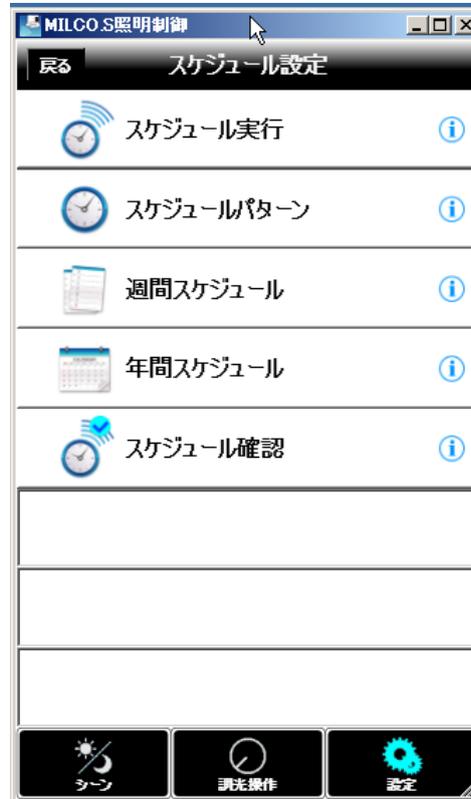


図 3-15[スケジュール設定画面]

#### 3-14-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定メニュー一覧に戻ります。	
「スケジュール実行」ボタン左クリック	・ スケジュール実行画面を表示します。	
「スケジュールパターン」ボタン左クリック	・ スケジュールパターン画面を表示します。	
「週間スケジュール」ボタン左クリック	・ 週間スケジュール設定画面を表示します。	
「年間スケジュール」ボタン左クリック	・ 年間スケジュール設定画面を表示します。	
「スケジュール確認」ボタン左クリック	・ スケジュール確認画面を表示します。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

### 3-15. 設定—スケジュール設定—スケジュール実行画面

#### 3-15-1. 概要

スケジュール実行、特定日スケジュール実行、人感センサ連動実行、スケジュール停止 4つのメニューがあり、いずれかをタッチすると、対象範囲で設定したコントローラに対して対応する動作の実行指示をおこないます。

#### 3-15-2. 画面仕様



図 3-16[スケジュール実行画面]

## 3-15-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュール設定メニュー一覧に戻ります。</li> </ul>	
「現行スケジュール実行」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラに対して、週間スケジュール、年間スケジュールで設定されているスケジュールパターンを実行します。</li> <li>年間スケジュールでスケジュール設定されている日付ではその日付のスケジュールが優先して実行され、年間スケジュール設定されていない日付では週間スケジュールでその曜日に設定されたスケジュールが実行されます。</li> </ul>	
「特定日スケジュール実行」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラに対して、年間スケジュールでスケジュールが設定されている日付の内、最初の日付に設定されているスケジュールの実行を指示します。</li> <li>翌日 0:00 以降は通常のスケジュール実行に戻ります。</li> </ul>	
「人感センサ連動実行」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラに対して、人感センサによる人検知をトリガーにした設定したスケジュールでの実行を指示します。</li> <li>人感センサ連動で実行するスケジュールは、スケジュールパターンが“タイマー”モードに設定されている必要があります。“タイマー”モードのスケジュールパターンでは、人を検知してからの経過時間に応じてシーンを切り替えます。</li> </ul>	
「スケジュール停止」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象範囲で設定したコントローラに対して、スケジュールの停止を指示します。</li> </ul>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

## 3-16. 設定－スケジュール設定－スケジュールパターン設定画面

### 3-16-1. 概要

コントローラに対して、スケジュール 1～4 のスケジュールパターンを設定します。

スケジュールパターンには、時刻モードとタイマーモードがあります。

時刻モードでは開始時刻と、その時刻になったら開始するシーン(“通常”含む)情報との組み合わせで設定します。

1 つのスケジュールに対して最大 10 個のシーン開始時刻を設定できます。

タイマーモードは現行スケジュール実行または人感センサ連動でスケジュール実行する際に使用するスケジュールパターンで、現行スケジュール実行または人感センサが人検知してからの経過時間(分:秒)に応じて実行させるシーン(“通常”含む)を設定します。

最大 10 個のシーン開始時間を設定できます。

### 3-16-2. 画面仕様

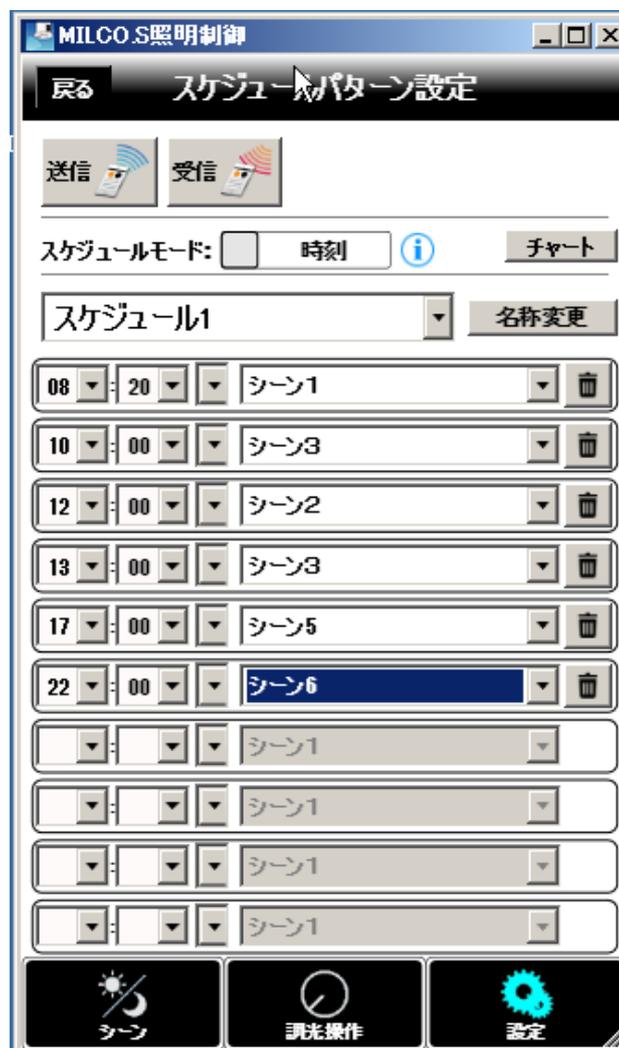


図 3-17[スケジュールパターン設定画面]

## 3-16-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュール設定メニュー一覧に戻ります。</li> </ul>	
「受信」ボタン左クリック時	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在選択している対象の最新情報を取得します。取得した値は画面に反映されます。</li> <li>受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在選択している対象に画面表示値を設定します。</li> <li>送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	
「スケジュール名称」リストボックス	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期表示は“スケジュール1”です。2 回目以降は前回名称が表示されます。</li> <li>スケジュール名称の右側の▲/▼を押すとスケジュール名称が変わります。表示されている名称が選択状態になります。</li> <li>名称部の右側にある「名称変更」ボタンを左クリックすることでスケジュールの名称を変更することができます。「変更完了」ボタンを押すとスケジュール名称選択に戻ります。</li> </ul>	
スケジュールパターン	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 スケジュールパターン当たり最大 10 個の開始時刻とシーン(“通常”含む)の組み合わせを割当可能です。</li> <li>開始時刻は、“時刻”モードの場合は”時:分”、“タイマー”モードの場合は”分:秒”です。タイマーモードではシーン切り替え間隔は 23 分 59 秒まで設定できます。</li> </ul> 	
スケジュールモード 選択部	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュールモード選択部で“時刻”モードか“タイマー”モードかを選択します。</li> <li>“タイマー”モードのスケジュールは、人感センサ連動で、人検知をトリガーにして経過時間でシーンを切り替える場合に選択します。</li> </ul>	
時刻・時間選択部	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期表示は空白です。</li> <li>スケジュールモードが“時刻”モードの場合は”時:分”、“タイマー”モードの場合は”分:秒”を選択します。タイマーモードではシーン切り替え時間は 23 分 59 秒まで設定できます。</li> <li>操作方法は 3-5 項を参照してください。</li> <li>スケジュールモードが“時刻”モードの場合、時刻を選択後に列が自動的に昇順にソートされます。時刻を選択してからシーンの選択をおこなってください。</li> </ul>	

シーン選択部	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期表示は“通常”です。</li> <li>左クリックすることでシーンを選択するドロップダウンメニューが表示されます。</li> </ul>	
「削除」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>同一行のスケジュールを削除します。</li> </ul>	
「チャート」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュールチャート画面を開きます。ポイントにマウスを合わせると設定された「時刻と調光率」が表示されます。</li> </ul> <div data-bbox="517 353 1248 788" data-label="Figure"> </div> <p>「印刷」ボタンを左クリックすると印刷画面が表示され、指定したプリンターに出力されます。</p>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

### 3-17. 設定－スケジュール設定－週間スケジュール設定画面

#### 3-17-1. 概要

コントローラに対し、曜日単位でスケジュールなし、または、スケジュール1～4からスケジュールパターンを設定します。

#### 3-17-2. 画面仕様

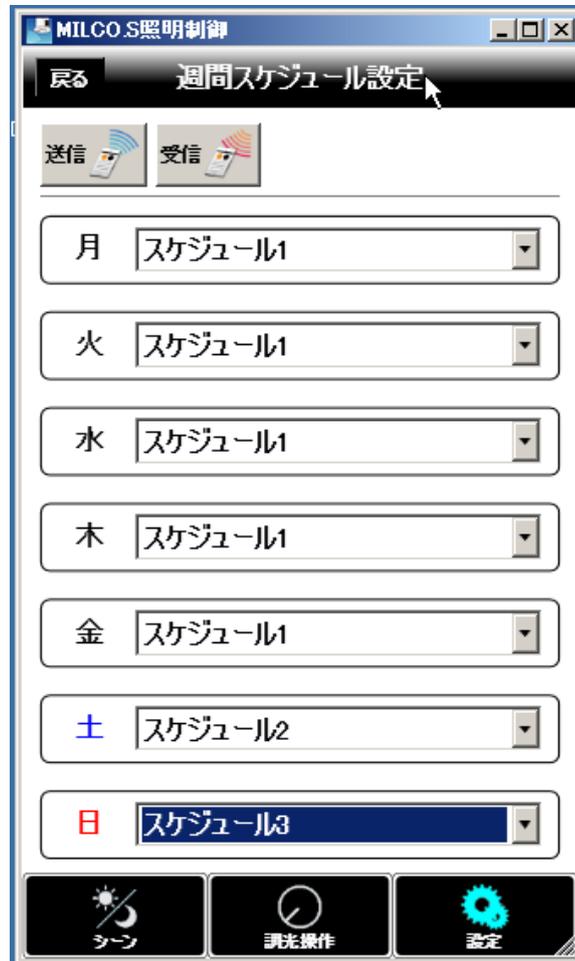


図 3-18[週間スケジュール設定画面]

## 3-17-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュール設定メニュー一覧に戻る。</li> </ul>	
「受信」ボタン左クリック時	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラの最新情報を取得します。取得した値は画面に反映されます。</li> <li>受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在選択している対象に画面表示値を設定します。</li> <li>送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	
各曜日のスケジュール設定欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>各曜日に設定するスケジュールパターンを選択します。</li> <li>初期表示は“なし”です。</li> <li>左クリックするとスケジュールパターンを選択するドロップダウンメニューが表示されます。スケジュールパターンの設定が無い場合は“なし”を選択します。</li> </ul>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

## 3-18. 設定—スケジュール設定—年間スケジュール設定画面

### 3-18-1. 概要

コントローラに対して、年間の特定日にスケジュールパターン 1~4 を設定します。  
(年間の特定日なしの曜日は、週間スケジュールが実行されます。)

特定日のスケジュールは週間スケジュールに優先します。特定日は最大 30 日まで設定できます。  
年の設定はなく、毎年同じ日が特定日となりますので、西暦何年を選んで日付を選択しても問題ありません。  
2/29 を特定日にする場合は閏年の 2 月を表示し、2/29 を選択してスケジュールパターンを設定してください。

「カレンダー日」欄では、週間スケジュールに設定済みの曜日は、設定されたスケジュールパターンに応じて、画面下部に凡例が示された色の内、左上の赤三角が無い薄い方の色で表示されます<sup>12</sup>。

特定日を設定すると設定日は、画面下部に凡例が示された色の内、左上に赤三角がある濃い方の色で表示されます。「カレンダー日」欄で西暦何年を選んで同じ月日であれば同じ色で表示されます。

### 3-18-2. 画面仕様



図 3-19[年間スケジュール設定画面]

<sup>12</sup> 本ソフトウェアでは週間スケジュール設定画面で曜日ごとに選択したスケジュールは年間スケジュール設定画面の「カレンダー日」欄の表示にすぐに反映されますが、週間スケジュール設定画面からの送信または一括送信がおこなわれるまではコントローラの制御には反映されない点に注意してください。

## 3-18-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュール設定メニュー一覧に戻る。</li> </ul>	
「受信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラの最新情報を取得します。</li> <li>取得した値は画面に反映されます。</li> <li>受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在選択している対象に画面表示値を設定します。</li> <li>送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	
「カレンダー日」	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付を左クリックで選択し、薄青の選択色になっている状態でマウスを右クリックすると、選択した日付に設定するスケジュールパターンを選択する画面(下図)が表示されます。           <div data-bbox="715 573 1066 692" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュールパターン名(“なし”を含む)が表示された部分を左クリックするとスケジュールパターンを選択するドロップダウンメニューが表示されます。スケジュールパターンを設定しない場合は”なし”を選択します。</li> <li>スケジュールパターンを選択したら「OK」ボタンを押してください。スケジュール選択をやめる場合は「キャンセル」ボタンを押してください。</li> <li>スケジュールを設定する日付は、コントロールキーまたはシフトキーを押しながら選択することで複数の日付を同時に選択することもできます。</li> <li>スケジュール登録できる日は最大 30 日までです。それを超える日数を登録しようとした場合、「登録できるスケジュールは年間 30 件までです。」というメッセージが表示されます。</li> </ul> </li> </ul>	2/29 にスケジュールを設定したい場合は、閏年の年の 2 月にカレンダーの年月を移動して設定してください。 月日のみが使用されますのでどの年で設定しても構いません。
「◀」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在表示している月カレンダーの前月を表示します。</li> </ul>	
「▶」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在表示している月カレンダーの翌月を表示します。</li> </ul>	
「特定日一覧」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定されている特定日をリスト形式で一覧表示します。           <div data-bbox="584 1220 837 1646" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>[削除]ボタンを左クリックすると、同一行の日付のスケジュール設定が削除されます。</li> <li>[戻る]ボタン左クリックで特定日一覧ダイアログを閉じます。</li> </ul> </li> </ul>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

### 3-19. 設定－スケジュール設定－スケジュール確認画面

#### 3-19-1. 概要

スケジュールパターンの設定内容を確認します。

ボタンを押すたびにスケジュールパターンのステップを 1 つずつ実行することで確認する”ステップ実行”と、1 時間を 6 秒間に短縮してスケジュールパターンを実行する”時間短縮実行”の 2 種類の方法でスケジュール設定内容を確認できます。

スケジュール確認停止ボタンを押すことで確認を終了します。

#### 3-19-2. 画面仕様

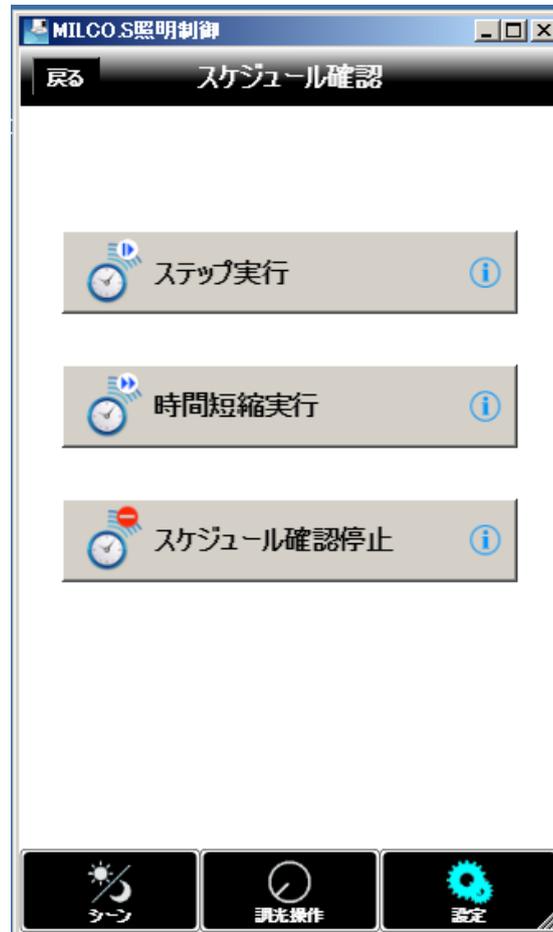


図 3-20[スケジュール確認画面]

#### 3-19-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	・ スケジュール設定メニュー一覧に戻る。	
「ステップ実行」ボタン左クリック	・ このボタンを左クリックするたびにスケジュールパターンの各ステップを実行します。	
「時間短縮ボタン」ボタン左クリック	・ このボタンを左クリックすると、1 時間を 6 秒間に短縮してスケジュールパターンを実行します。	
「スケジュール確認停止」ボタン左クリック	・ スケジュールパターンの確認を終了します。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

## 3-20. 設定－運用設定画面

### 3-20-1. 概要

調光出力モード、照度センサ感度、照度制御、人感センサ検知、接点機能、最大電力値、復電モード、調光信号、日時、アドレス・グループ、異常表示、その他、の中から設定対象のカテゴリを選択してコントローラの運用設定をおこないます。

双方向ワイヤレスリモコン MS213 で設定・実行可能な項目の内、本ソフトウェアで設定・実行できない項目は以下です。

・メルセーブ IV モード、オプション操作

⇒メルセーブ IV シリーズのコントローラ用の機能なので本ソフトウェアでは設定できません。

### 3-20-2. 画面仕様

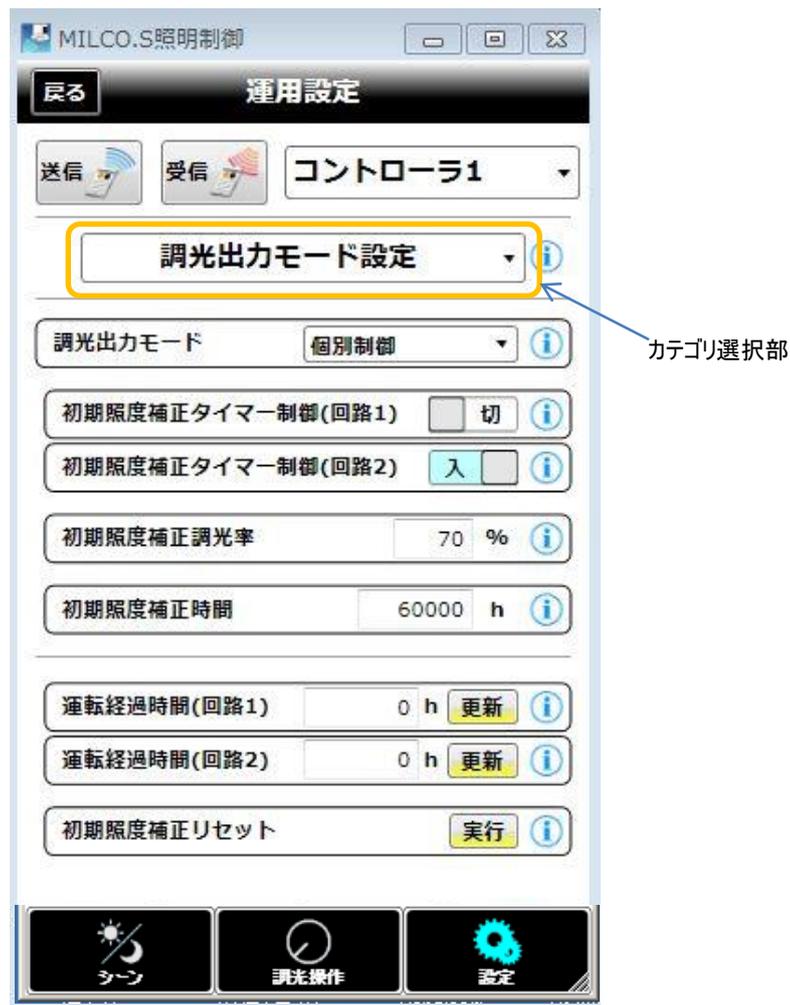


図 3-21[運用設定画面]

## 3-20-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定メニュー一覧に戻る。</li> </ul>	
「受信」ボタン左クリック時	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラの最新設定値を取得します。取得した値は画面に反映されます。</li> <li>値を取得する設定項目は、カテゴリ選択部で選択されているカテゴリに含まれる設定項目のみです。運用設定画面では全カテゴリの設定項目の値を一度に取得することはできません。</li> <li>受信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	
「送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在選択している対象に画面表示値を設定します。</li> <li>値を設定する設定項目は、カテゴリ選択部で現在選択されているカテゴリに含まれる設定項目のみです。運用設定画面では全カテゴリの設定項目の値を一度に設定することはできません。</li> <li>送信ボタンの操作は 3-3 項を参照してください。</li> </ul>	
「更新」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラの、画面上で「更新」ボタンが含まれている項目の値を更新します。</li> <li>このボタンが含まれている項目に関しては、「送信」ボタンを押しても値は送信されません。</li> </ul>	
「実行」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラに対して、画面上で「実行」ボタンが含まれている項目の実行を指示します。</li> <li>このボタンが含まれている項目は、「送信」ボタンを押しても実行指示されません。</li> </ul>	
「変更」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在選択している対象の、画面上で「変更」ボタンが含まれている項目の値を変更します。</li> <li>このボタンが含まれている項目は、「送信」ボタンを押しても値が送信されません。</li> </ul>	
カテゴリ選択部	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信、送信の対象となる運用設定の項目のカテゴリをドロップダウンメニューで選択します。選択可能なカテゴリは以下の通りです。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 調光出力モード設定</li> <li>➢ 照度センサ感度設定</li> <li>➢ 照度制御設定</li> <li>➢ 人感センサ検知設定</li> <li>➢ 接点機能設定</li> <li>➢ 最大電力値設定</li> <li>➢ 復電モード設定</li> <li>➢ 調光信号設定</li> <li>➢ 日時設定</li> <li>➢ アドレス・グループ設定</li> <li>➢ 異常表示</li> <li>➢ その他</li> </ul>	
運用設定		
調光出力モード設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドロップダウンメニューから、個別制御、バランス制御、色温度制御、昼光センサ制御の 4 モードのいずれかを選択します。</li> <li>モードによって設定が必要な項目が異なるため、選択した調光出力モードで表示された項目のみ設定をおこなってください。</li> <li>調光操作画面でコントローラの色温度を操作する場合は、該コントローラの調光出力モードが色温度制御に設定されている必要があります。</li> </ul>	
個別制御		
初期照度補正 タイマー制御(回路 1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「入」「切」を設定します。</li> </ul>	
初期照度補正 タイマー制御(回路 2)		
初期照度補正調光率	<ul style="list-style-type: none"> <li>数値を入力します。</li> </ul>	

初期照度補正時間	・数値を入力します。	
運転経過時間(回路 1)	・「受信」ボタン左クリックで運転経過時間を取得します。 ・数値を入力し、枠内の「更新」ボタン左クリックで運転経過時間を更新することができますが、初期照度補正制御に影響を与えるため、照明器具の取り換え時などにのみ使用してください。	
運転経過時間(回路 2)		
初期照度補正リセット	・「実行」ボタン左クリックで回路1、回路2共に運転経過時間をリセットします。初期照度補正制御に影響を与えるため、照明器具の取り換え時などにのみ使用してください。	
バランス制御		
バランス率	・数値を入力します。	
色温度制御		
白色 LED 色温度	・数値を入力します。	
白色 LED 光束		
電球色 LED 色温度		
電球色 LED 光束		
昼光センサ制御		
照度変化量(回路 1)	・数値を入力します。	
照度変化量(回路 2)		
照度センサ感度設定	・照度センサの感度設定をおこないます。	
感度設定モード	・感度設定モードを、自動、簡単、から選択します。	
感度設定モード【自動】		
初期照度	・数値を入力し、枠内の「送信」ボタンを左クリックして送信します。	
目標照度	・数値を入力し、枠内の「送信」ボタンを左クリックして送信します。	
感度設定	・枠内の「実行」ボタンをマウス左クリックすることで自動感度設定の実行が指示されます。	
感度設定モード【簡単】		
目標照度	・数値を入力し、枠内の「送信」ボタンを左クリックして送信します。	
調光率／色温度調整	・「調整」ボタンを左クリックすると、調光率と色温度を調整する画面が表示されます。調光出力モードが色温度制御の場合にのみ色温度の調整が可能になります。 ・調光率と色温度(色温度制御時のみ)をスライダーバーで指定します。 ・調整が終わったら「閉じる」ボタンを左クリックして元の画面にもどります。	
感度設定	・枠内の「実行」ボタンを左クリックすることで簡単感度設定の実行が指示されます。	
照度モニタ	・「受信」ボタンを左クリックすると照度センサが検知した現在の照度値が表示されます。	
初期照度	・「受信」ボタンを左クリックすると簡単感度設定で設定された初期照度値が表示されます。	
センサ補正	・枠内の「実行」ボタンを左クリックすることでセンサ補正の実行が指示されます。	
照度制御設定	・昼光補正制御時の減光率、および、昼間明るい場合に消灯をおこなう消灯制御時のチャタリングの設定をおこないます。	
昼光補正:減光率	・数値を入力します。	
消灯制御:チャタリング設定	・数値を入力します。	
人感センサ検知設定	・人感センサの検知設定をおこないます。	
オフセット:センター	・数値を入力します。	
オフセット:幅		
検知条件:パルス幅		
検知条件:検知回数		
点灯不要照度	・点灯不要照度の設定をするかどうかを「切」「入」で指定します。 ・「入」指定時には点灯不要照度を入力します。	

接点機能設定	・ コントローラの接点を用いて、入力でシーンを切り替えたり、シーン状態や消灯／点灯状態などを出力したりする設定をおこないます。	
接点組合せ	・ 接点 1 と接点 2 を組み合わせる使用するか、個別に使用するかを選択します。	
接点組合せ【切】		
接点 1:モード	・ ドロップダウンメニューから、接点 1 のモードを選択します。	
接点 1:論理	・ 接点 1 が ON 時の論理を正にするか負にするかを選択します。	
接点 1:換気扇連動遅延時間	・ “接点 1:モード”で“(出)換気扇連動”を選択した場合に、人の在検知をしてから接点出力するまでの時間を指定します。	
接点 2:モード	・ ドロップダウンメニューから、接点 2 のモードを選択します。	
接点 2:論理	・ 接点 2 が ON 時の論理を正にするか負にするかを選択します。	
接点 2:換気扇連動遅延時間	・ “接点 2:モード”で“(出)換気扇連動”を選択した場合に、人の在検知をしてから接点出力するまでの時間を指定します。	
接点組合せ【入】		
接点	・ 接点入力に使うか接点出力に使うかを選択します。	
論理	・ 接点が ON 時の論理を正にするか負にするかを選択します。	
最大電力値設定	・ 各回路に接続する照明器具の定格消費電力の合計値を設定します。	
最大電力値(回路 1)	・ 数値を入力します。	
最大電力値(回路 2)		
復電モード設定	・ 復電時に戻す状態を設定します。	
復電モード	・ “最終状態に戻すか自動運転モードに戻すか”を指定します。	
調光信号設定	・ 調光信号の設定をします。	
調光周波数	・ “1kHz”か“100Hz”か、を指定します。	
調光信号 Duty	・ 数値を入力します。	
日時設定	・ コントローラの日時設定をおこないます。 ・ MILCO.S ではコントローラ間で自動的に時刻同期がおこなわれるため、アドレスが一番小さいコントローラに対して日時を設定してください。 (コントローラ間を通信線で接続した場合)	
日付変更	・ 日付を選択します。	
時刻変更	・ 時刻を選択します。	
PC 日時	・ “取得”ボタンを押すと、現在の PC の時刻を取得し、“日付変更”と“時刻変更”の両方の欄に表示します。	
時計補正	・ 数値を入力します。	
アドレス・グループ設定	・ コントローラのアドレス、グループを設定します。	
アドレス番号	・ 数値を入力します。	
グループ番号	・ “変更”ボタンを押すとコントローラに設定値が送信されます。	
異常表示	・ コントローラの異常表示の設定をします。また、コントローラで発生しているエラーを受信することができます。	
異常表示	・ “入”、“切”を指定します。	
ブザー音		
エラーモニタ	・ コントローラで発生しているエラーを受信した結果が表示されます。	
その他	・ その他の運用設定をおこないます。	
本体バージョン情報	・ コントローラ本体のバージョンを表示します。	
設定クリア	・ コントローラのメモリをクリアする場合に“実行”ボタンを左クリックします。 ・ コントローラのアドレスが 0 になるため、設備インターフェース機器経由での通信はできなくなります。アドレスを再設定してください。	
照度センサセルフテスト	・ 照度センサの動作試験を行う場合に“実行”ボタンを左クリックします。	
照度センサ ゲイン	・ 数値を入力します。	

	照度センサ センサ値	・ 数値を入力します。	
	人感センサ状態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人感センサが在検知状態か否かを受信し表示します。</li> <li>・ 人感センサが人を検知しなくなってから不在状態になるまでの時間は、シーン設定画面で設定してください。(3-13項 シーン設定画面を参照してください。)</li> </ul> その時点で動作中のシーンの人感センサ保持時間で決まります。	
タブメニュー		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 画面を切り替えます。</li> <li>・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	



図 3-22[調光出力モード設定画面]

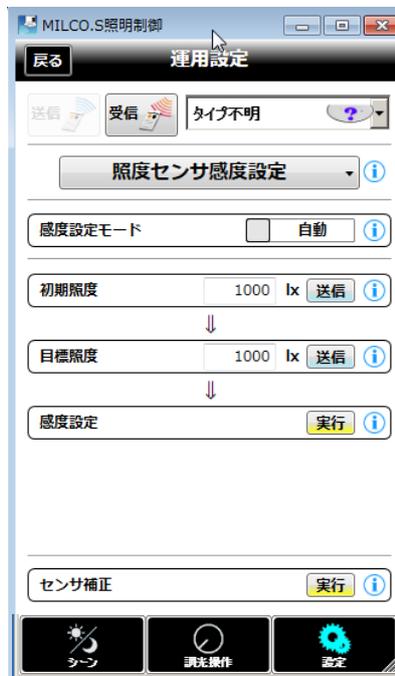


図 3-23[照度センサ感度設定画面]

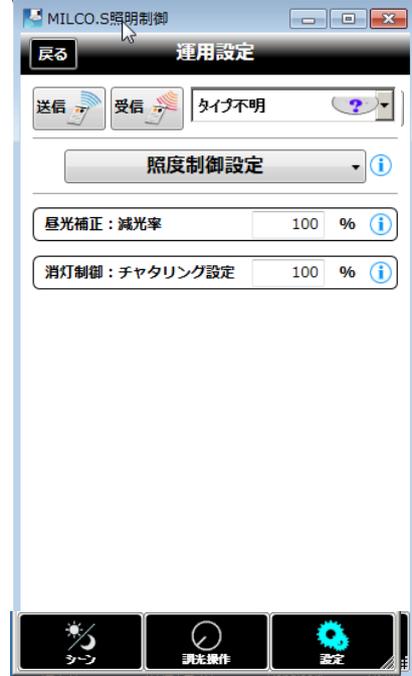


図 3-24[照度制御設定画面]

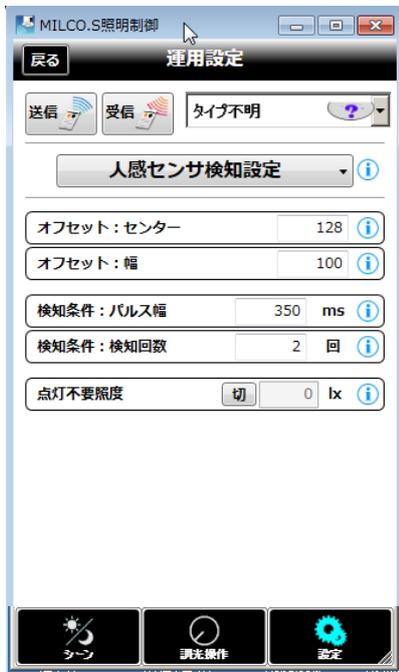


図 3-25 人感センサ検知設定画面]

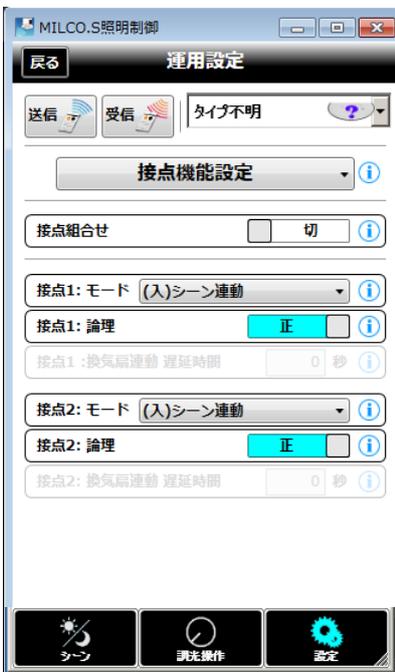


図 3-26[接点機能設定画面]



図 3-27[最大電力値設定画面]

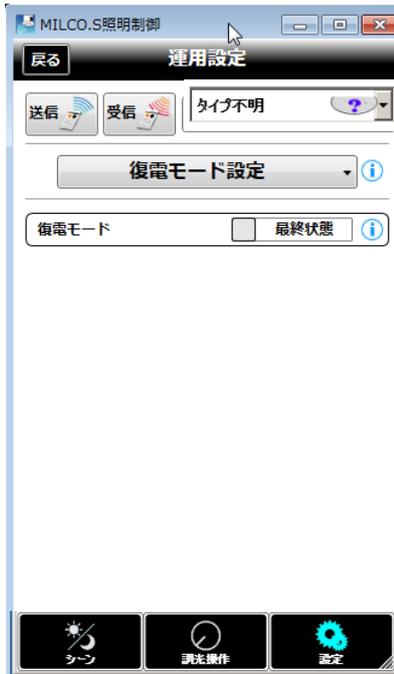


図 3-28[復電モード画面]



図 3-29[調光信号設定画面]

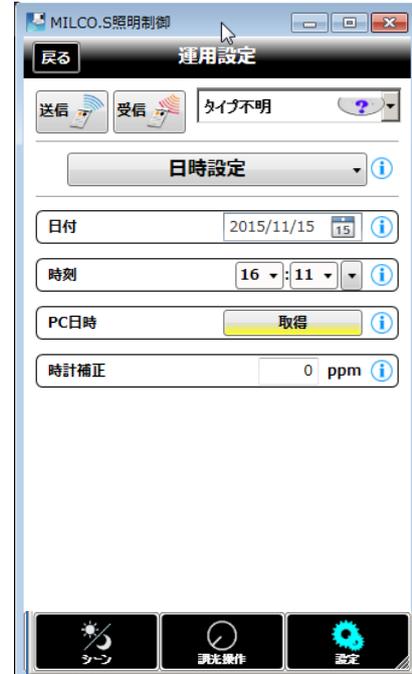


図 3-30[日時設定画面]

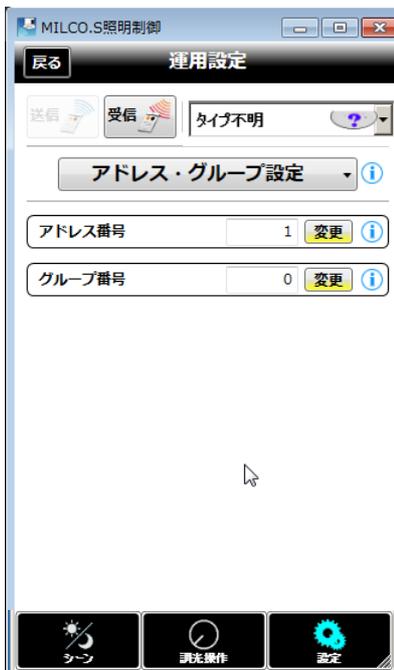


図 3-31[アドレス・グループ設定画面]

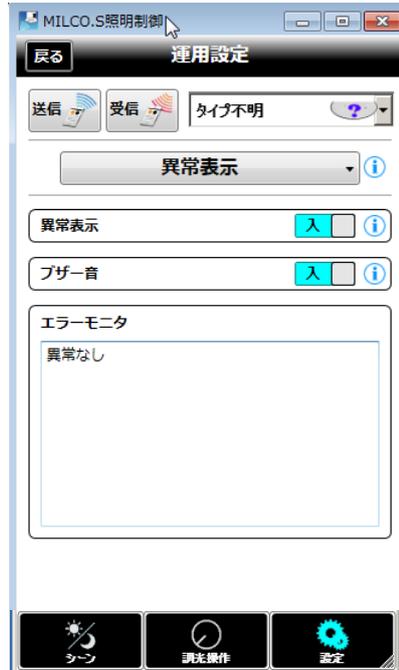


図 3-32[異常表示設定画面]

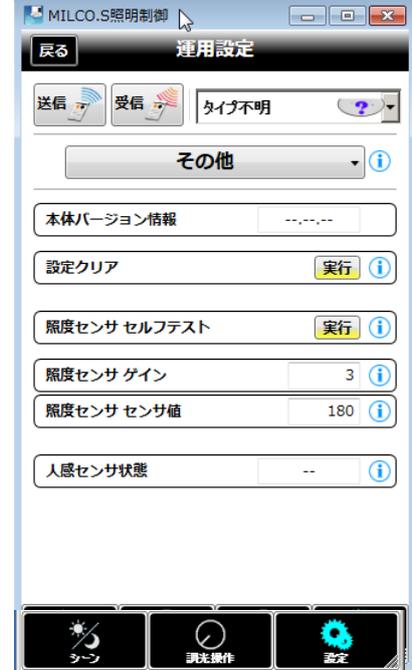


図 3-33[その他画面]

## 3-21. 設定データ管理画面

### 3-21-1. 概要

一括送受信、ファイル保存・読出の2つのメニューがあり、いずれかをタッチすると対応する設定画面に遷移します。

### 3-21-2. 画面仕様



図 3-34[設定データ管理画面]

### 3-21-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定画面に戻ります。	
「一括送受信」ボタン左クリック	・ 一括送受信画面に遷移します。	
「ファイル保存・読出」ボタン左クリック	・ ファイル保存・読出画面に遷移します。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

## 3-22. 設定－設定データ－一括送受信画面

### 3-22-1. 概要

シーン設定、スケジュール設定、運用設定の一括送受信をおこないます。3種類の内どの設定を一括送受信の対象にするかをチェックボックスで選択可能です。複数種類の設定を一括送受信の対象にする事もできます。

#### 【重要】

コントローラのアドレス設定やグループ番号設定などの、運用設定画面で画面左上の“送信”ボタンによる送信対象になっていない設定値は一括送信の対象にはなりません。運用設定画面の対象設定値欄にある“送信”ボタンや“更新”ボタンで送信をおこなってください。

### 3-22-2. 画面仕様

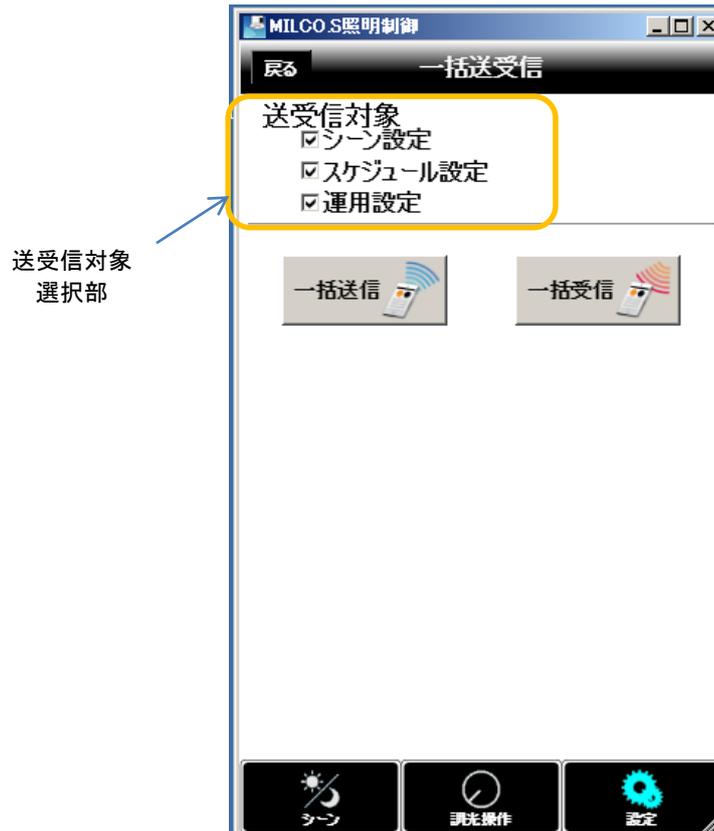


図 3-35[一括送受信画面]

## 3-22-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定画面に戻ります。</li> </ul>	
送受信対象選択部	<ul style="list-style-type: none"> <li>一括送受信の対象とする設定データを、シーン設定、スケジュール設定、運用設定、からチェックボタンで選択します。</li> </ul>	
「一括送信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定データを一括送信します。</li> </ul>	
「一括受信」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定データを一括受信します。</li> </ul>	
「中止」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>一括送受信には時間がかかるため、送受信処理中にのみ、中止を可能にする”中止”ボタンが表示されます。</li> <li>“中止”ボタンを押すと、送受信の処理の区切りのタイミングで送受信を中止します。中止するまでに送受信された設定データを元に戻すことはできません。</li> </ul>	一括送信中、または、一括受信中のみ表示
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

### 3-24. 設定－設定データファイル保存・読出画面

#### 3-24-1. 概要

MILCO.S システムのコントローラの設定データのファイル保存、または、ファイルに保存した設定データの読み出しをおこないます。

#### 3-24-2. 画面仕様

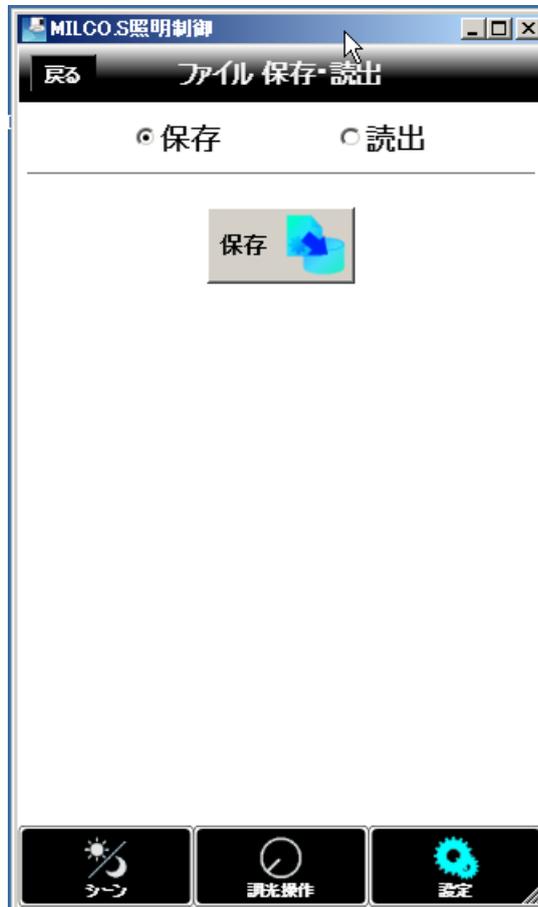


図 3-36[ファイル保存・読出画面]

#### 3-24-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定画面に戻ります。</li> </ul>	
「保存」/「読出」ラジオボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルへの保存か、ファイルからの読出かを選択します。</li> <li>「保存」を選択すると「保存」ボタンが、「読出」を選択すると「読出」ボタンが、それぞれ表示されます。</li> </ul>	
「保存」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定データをファイルに保存します。</li> <li>ボタンを押すと Windows の「名前を付けて保存」ファイルを開くダイアログが表示されます。</li> </ul>	
「読出」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボタンを押すと Windows のファイルを開くダイアログが表示されます。</li> <li>設定データのファイルを読み出します。</li> </ul>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

## 3-25. ワイヤレス設定

### 3-25-1. 概要

MILCO.Sワイヤレス専用設定画面です。システムIDの設定とモニタや無線情報の初期化をおこないます。

### 3-25-2. 画面仕様

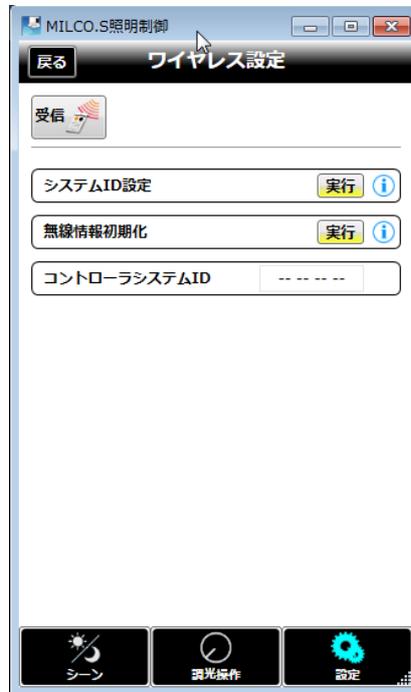


図 3-37[ワイヤレス設定画面]

### 3-25-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「受信」ボタンの左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラのシステムIDを取得します。</li> </ul>	
「システムID設定」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラと照明器具間で使用される無線通信のシステムIDを設定します。</li> <li>システムIDは、コントローラ内の無線ユニットで管理されている情報から自動的にID番号が設定されます。</li> </ul>	
「無線情報初期化」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>コントローラ内の無線ユニットの情報が工場出荷設定になります。</li> <li>システムID、ショートアドレス情報が初期値になります。</li> </ul>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

## 3-26. 通信設定画面

### 3-26-1. 概要

設備インターフェース機器のネットワーク設定をおこないます。

### 3-26-2. 画面仕様



図 3-38[通信設定画面]

### 3-26-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定メニュー一覧に戻る。	
「送信」ボタンの左クリック	・ コントローラに通信設定情報を送信します。	
「受信」ボタンの左クリック	・ コントローラの通信設定情報を取得します。	
無線 LAN モード	・ 設備インターフェース機器の動作モード「アクセスポイント／インフラストラクチャ(DHCP)／インフラストラクチャ(IP 固定)／有線 LAN(IP 固定)」を選択します。	
ネットワークID	・ 無線LANのネットワークIDを設定します。4桁の英数字が使用できます。MILIE の文字は固定となります。	
ネットワークパスワード	・ ネットワークIDに対するパスワードを設定します。4桁の英数字が使用できます。MILCO の文字は固定となります。	
IP アドレス	・ 設備インターフェース機器の IP アドレスを設定します。 “192.168.”までは固定ですので変更できません。 3 桁目は 0～255 の間で設定します。 4 桁目は 1～254 の間で設定します。 ・ 設定変更後は接続テストをおこなってください。 ・ 初期表示は“192.168.101.1”です。 値が保存されますので、本ソフトウェアの 2 回目以降の立ち上げでは前回値が表示されます。	
無線チャンネル	・ 設備インターフェース機器で使用する無線チャンネルを設定します。	
デフォルト GW	・ 有線 LAN のデフォルトゲートウェイの IP アドレスの 4 桁目を入力してください。3 桁目は自動で“IP アドレス”欄の 3 桁目と同値になります。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

## 3-27. 設定—名称変更画面

### 3-27-1. 概要

本ソフトウェアで表示されるグループの名称変更をおこないます。

全て全角文字の場合は最大 9 文字です。

半角の場合は使用する文字の表示幅により最大文字数が変わります。

#### 【重要】

名称変更画面では、名称の重複や空文字列のチェックをおこないません。誤操作防止のため、名称を重複させないでください。

### 3-27-2. 画面仕様

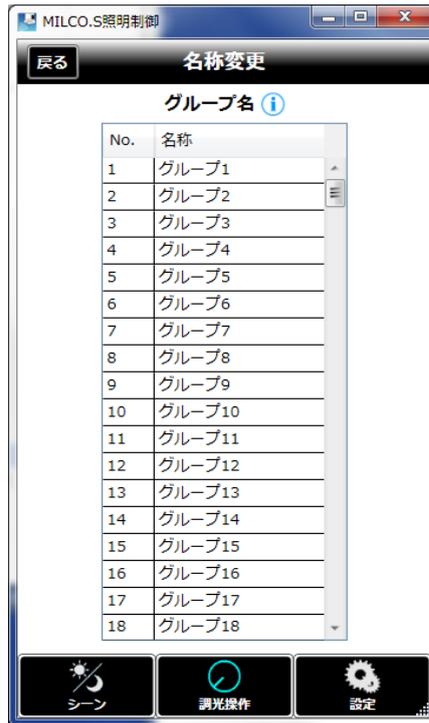


図 3-39[名称変更画面]

### 3-27-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	<ul style="list-style-type: none"> <li>設定メニュー一覧に戻る。</li> </ul>	
グループ名リスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ番号の右欄に現在の名称が表示されます。</li> <li>名称変更の対象とするグループの行を左クリックで選択し、列が青い表示になった状態で更に右欄の名称表示部を左クリックすると名称変更が可能な状態になります。</li> <li>名称の変更が完了したら Enter キーを押すか、他の行をマウスで左クリックして確定させてください。</li> <li>グループ名に最大表示幅が決められており、それを超える幅の文字列を入力した場合は確定時に最大表示幅に削られます。</li> <li>最大表示幅は全て全角文字の場合で 9 文字分の幅です。半角文字の場合は文字ごとの表示幅が異なるため、最大文字数は使用する文字によって変わります。</li> </ul>	
タブメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>画面を切り替えます。</li> <li>タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。</li> </ul>	

## 3-28. 設定—ソフトウェア設定画面

### 3-28-1. 概要

本ソフトウェア自体の設定をおこないます。

インフォメーション表示やエラー情報などのメッセージボックスに表示されるメッセージの文字サイズを変更する事ができます。

タブレットなどで本ソフトウェアを使用した際にメッセージの文字が小さくて見づらい場合には「メッセージ文字サイズ」欄のスライダーを動かして文字のポイント数を変更してください。また表示される言語(日本語/英語)に切替えられます。

### 3-28-2. 画面仕様

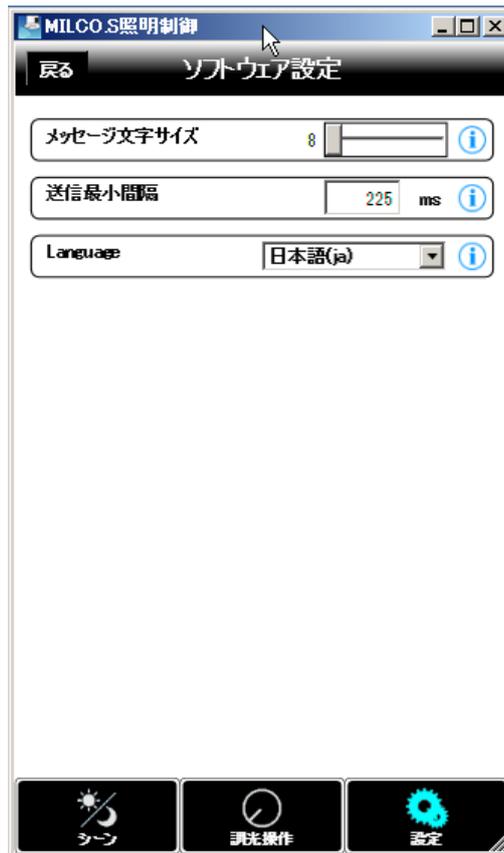


図 3-40[ソフトウェア設定画面]

### 3-28-3. 動作仕様

項目	動作説明	備考
「戻る」ボタン左クリック	・ 設定メニュー一覧に戻る。	
メッセージ文字サイズ欄のスライダー操作	・ メッセージの文字ポイント数がスライダーの左側に表示されます。 ・ スライダーを動かすと文字ポイント数が変化し、メッセージの文字サイズが変わります。	
送信最小間隔	・ 赤外線通信を連続で行う時の送信間隔を設定します。	
Language	・ ドロップダウンメニューで日本語(ja)と English(en)が選択できます。 ・ 設定を切替えた場合はアプリケーションを再起動させる必要があります。	
タブメニュー	・ 画面を切り替えます。 ・ タブメニューの操作は 3-4 項を参照してください。	

以上